

令和 2 年度
第 2 回福知山市立公民館運営審議会

資 料

福 知 山 市 立 公 民 館

令和2年度 福知山市立公民館運営審議会委員名簿

(敬称略)

氏 名	選 出 団 体 等	備 考
あしだ まさお 芦田 昌雄	市立学校校長会	
おおつき ひろし 大槻 紘	(公社)福知山市文化協会	
あしだ おさむ 芦田 收	(一財)福知山市スポーツ協会	
きぬがわ のりこ 衣川 典子	福知山市P T A連絡協議会	
はしもと としこ 橋本 登志子	福知山市連合婦人会	
ささき やすこ 佐々木 康子	福知山市社会教育委員会議	
よしづみ さとみ 善積 里美	福知山市立図書館協議会	
はまともひろ 濱 友啓	福知山市公民館連絡協議会	
おくむら えいじ 奥村 英二	川口地域公民館運営協議会	
まとば てつはる 的場 哲治	日新地域公民館運営協議会	
きりもと あきひろ 桐本 章広	北陵地域公民館運営協議会	
おおつき ゆういち 大槻 祐一	六人部地域公民館運営協議会	
いちのせ としゆき 一ノ瀬 敏之	成和地域公民館運営協議会	
いでの ときお 出野 都喜夫	三和地域公民館運営協議会	
きぬがわ ひじり 衣川 聖	夜久野地域公民館運営協議会	
あらい けんじろう 新井 健二郎	大江地域公民館連絡協議会	
おおしま まさのり 大嶋 正徳	桃映地域公民館運営協議会	
おぎの なおみ 荻野 直美	公募委員	
ほんだ ようこ 本多 洋子	公募委員	

計 19名

任期 令和2年7月27日から
令和4年7月26日まで

公民館運営審議会関連法規【抜粋】

○社会教育法

(公民館運営審議会)

第29条 公民館に公民館運営審議会を置くことができる。

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

第30条 市町村の設置する公民館にあつては、公民館運営審議会の委員は、当該市町村の教育委員会が委嘱する。

2 前項の公民館運営審議会の委員の委嘱の基準、定数及び任期その他当該公民館運営審議会に関し必要な事項は、当該市町村の条例で定める。この場合において、委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参照するものとする。

第31条 法人の設置する公民館に公民館運営審議会を置く場合にあつては、その委員は、当該法人の役員をもつて充てるものとする。

○公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令（平成23年12月1日文部科学省令第42号）

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（平成二十三年法律第二百五号）の一部の施行に伴い、及び社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）第三十条第二項の規定に基づき、公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令を次のように定める。

社会教育法第三十条第二項の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から委嘱することとする。

○福知山市立公民館条例（昭和51年4月1日条例第4号）

(公民館運営審議会)

第3条 公民館に法第29条第1項の規定に基づき、公民館運営審議会を置く。

2 公民館運営審議会委員（以下「委員」という。）の定数は、20人以内とする。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 公職又は団体代表の地位にあつたため委嘱された委員の任期は、前項の規定にかかわらずその地位を退いたときをもって終わる。

○福知山市立公民館条例施行規則（昭和51年3月31日教育委員会規則第5号）

(公民館運営審議会)

第4条 公民館運営審議会（以下「運営審議会」という。）に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選とする。

3 委員長及び副委員長の任期は、2年とする。ただし、再選することができる。

4 委員長は、運営審議会を代表し、会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

第5条 運営審議会の会議は、定例会及び臨時会とし、委員長が招集する。

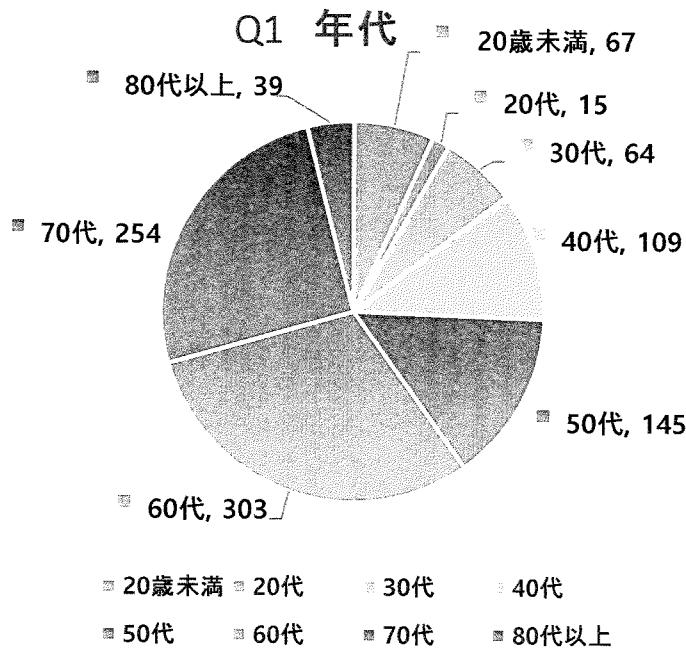
(1) 定例会は、原則として単年度2回開催する。

(2) 臨時会は、必要に応じて開催する。

福知山市立公民館における新型コロナウイルス感染予防対策

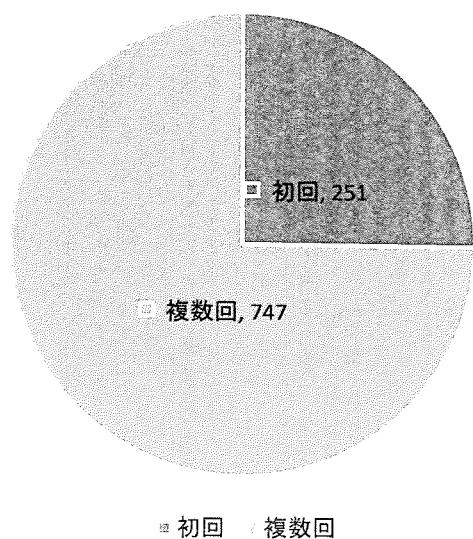
- ・ 2020. 2. 26 福知山市新型コロナウイルス感染症の対応方針について発表
※主催行事の原則中止
※手指消毒等アルコール設置
※貸館キャンセル10割還付開始
- ・ 2020. 3. 11 市内感染者確認等により方針改訂し休館措置（～3. 27）
※職員常駐時間等は変更なし
- ・ 2020. 3. 28 一部利用制限し再開
- ・ 2020. 4. 16 生涯学習情報誌発行（新型コロナに係る注意書き加筆）
各講座受付開始は4. 27より開始
- ・ 2020. 4. 17 緊急事態宣言発令を受け休館措置
※主催行事中止（5. 31まで）→講座等調整開始。
中止・変更等は、新聞、ホームページに随時掲載する。
申込制のものは申込時に説明して、参加者決定後連絡する。
※緊急館長会実施し、前回休館時の実態により職員常駐21時
までの館は休館中19時半までとする。（留守電等対応）
- ・ 2020. 5. 20 公民館各部屋 施設利用ガイドラインに基づき再開
※各部屋使用定員50%以下
- ・ 2020. 6. 1 体育館・運動場・ホール・主催事業
施設利用ガイドラインに基づき再開※各部屋使用定員50%以下
- ・ 2020. 7. 1 京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス登録
- ・ 2020. 9. 23 施設利用ガイドライン、使用定員定数まで規制緩和
- ・ 2021. 1. 15 緊急事態宣言発令を受け定数制限と時間短縮措置
※各部屋使用定員50%以下
※施設利用及び職員勤務20時まで
- ・ 2021. 2. 4 宣言延長を受け定数制限と時間短縮措置継続（3. 7まで予定）

公民館講座・教室参加者アンケート全体まとめ



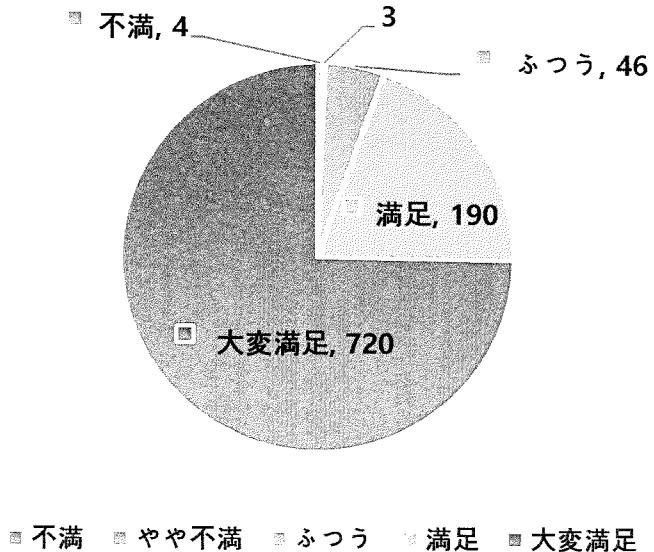
60代以上が過半数を占めており、その割合も昨年度より増加している。
20歳未満の参加者は、児童生徒を対象とした講座である。
親子対象講座では30代の参加があるが、それ以外では少ない。

Q2 参加経験



初めて公民館講座に参加された方が約25%、リピーターが75%であり、昨年度よりリピーターの割合が若干增加了。
251人が新たな公民館利用者となつた。

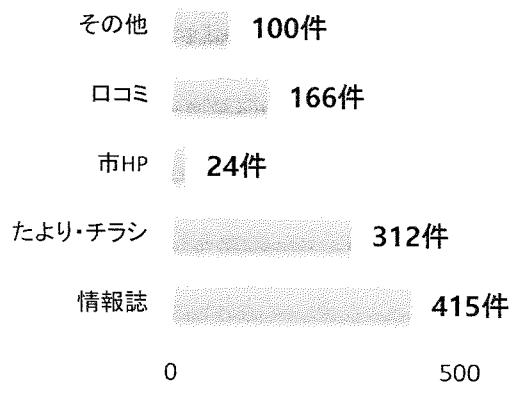
Q3 満足度(平均4.49)



講座・教室の参加者の満足度は、昨年度平均4.65から若干下がったものの

性別、年齢に関わらず高く、全体の約94%の方に満足いただけた。
不満に思われた方は、自由記述がなかったため、何に対して不満に思われたのかわからなかったが、不満のある講座について主催館により内容を分析し、より良い講座に繋げたい。

Q4 講座認知



情報誌は年度当初に自治会を通じて各戸配布で発行する「学ぶ楽しさ 生かす喜び」をイメージした設問であったが、各地域公民館発行の公民館だよりも回答された可能性がある。
申込みの約71%が情報誌、公民館だより等用紙媒体での申し込みであった。

今年度より複数回答可としたため昨年度と単純比較はできないが、昨年度以上に用紙媒体で講座を認知された方の割合が増加している。

各館では、新聞掲載や、区域内有線等活用し講座・教室の広報を実施している。
新聞掲載や区域内有線は、その他に含まれる。

家族や友人等からの口コミによる申し込みも多い。

今年度は情報誌の発行について広報しQRコードを記載する等改良を加えた。

広報については、さらに、より多くの方に情報を伝えられる効果的な手法について検討したい。

令和2年度 第2回市立公民館運営審議会（3月4日）資料

中央公民館

1 令和2年度事業（取組）の重点について

（1）笑顔あふれる公民館活動の推進

いつでも・だれでも・どこでも・楽しく学ぶことができる様々な学習活動や情報提供を行い、生涯学習講座等を通じて地域や世代を超えた交流を深め、活動の輪が広がっていくよう推進する。

（2）地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

地域社会との交流の場の提供や様々な体験学習を通して、次代を担う子どもたちが、家族や地域のぬくもりを感じつつ、人として思いやりあふれる豊かな心と創造性を培い、育んでいくための環境づくりの充実に努め、青少年の健全育成をめざす。

（3）市民協働のまちづくりに向けた取組

「市民交流プラザふくちやま」を拠点とし、地域の人々にとって身近な施設として、時代に即した幅広い活動を展開するとともに、社会教育団体や公民館登録団体の自主的な活動を支援し、地域コミュニティの活性化を促進するとともに、リーダー的役割を担う人材の育成を努める。

2 事業の概要及び特徴的な事業について

（1）一般講座・教室（12講座）（下線新規教室）

『たのしい書道教室』 『絵画教室』 『クラフトバンド初心者教室』

『そば打ち教室』 『料理教室』 『男性クッキング』

『ヨガ』 『台湾風ストレッチ～楽筋操～』 『手づくりパン教室』

『バランスボールで弾もう』 『家でも簡単!!日本茶教室』（中止）

優れた智恵・技を持つ高齢者から技能を学ぶ『季節料理教室』

ボランティア文化講座（2講座）『基礎料理教室』 『松柏盆栽教室』

従来より実施しており参加希望の多いものを継続し、体を動かすプログラムについては、ストレッチ的なものを多く取り入れ、家でも気軽にできるように新規講座を調整した。

（2）わくわく体験教室（3教室）（下線新規教室）

夏休み期間を利用し、小学生が幅広い世代の人々と交流しながら新しい発見や知識を身につけ、親子のふれあいを大切にした教室等を開催した。

◎家族だんらんの日の家族へのおもてなし『地元のお茶を知ろう！』

◎親子体験学習『自然観察会と植物標本づくり』

◎ものづくり『親子でクレイアート』

今年度は新規講座として、夏休みの自由課題にできるようものづくりの教室を開催した。新型コロナウイルス対策のため参加者数を制限したこともあり、いずれの教室も定数を超える応募があった。

（3）人権教育の推進

共に幸せを生きるまちづくり人権講座（1月28日）

『～子ども人権と私たちの役割～』 春川政信さん

人権推進室と調整し、今日的な課題をテーマに選定し計画したが、新型コロナウイルスにより中止した。

(4) 中央公民館文化祭（12月5日）

新型コロナウイルス感染症の流行により、感染拡大防止のため、内容を一部制限し行つた。公民館講座の作品展示、公民館登録団体（16団体）の活動成果の発表の場として開催し、公民館登録団体による体験教室、各地域公民館等で活動している団体の音楽教室発表会などを通じ、公民館活動をPRし、活動の輪を広げる場となつた。

3 成果と課題（次年度に向けて）

今年度は、新型コロナウイルス流行により、緊急事態宣言が発令され、公民館が休館になるなど、公民館の事業も制限されるという、これまでにない状況の中で活動する一年となつた。

一般講座・教室については、年度当初に発行する情報誌で広報し、参加者の募集を行つた。緊急事態宣言中ということもあり、どの教室についても感染防止対策により人数制限された会場に合わせて定員を減らし開催した。応募開始時期が施設の利用停止時期と重なったこと也有ってか、例年より申込者数自体も少なく、手作りパン教室のみ抽選となつた。緊急事態宣言が解除され、会場の人数制限も緩和された後は、途中から照会のあった講座参加希望者にもできる限り講座に参加してもらった。

講座終了後は、過去の講座修了者による既存のサークル（中央公民館登録団体）を紹介し、引き続き活動を継続される方也有つた。昨年度の台湾風ストレッチ～楽筋操～（らーちん）のように新規に発足したサークルはなかつた。

今年度も講座参加者にアンケートを実施し、参加者の“声”を聞いた。「コロナ禍で自宅にいました。開講していただきありがとうございました。」という方や、「コロナのため講座が行われるかわからなかつたけれど、コロナ対応しながら開催されていてよかったです」「コロナの中、参加できたことをうれしく思います。」という声があり、改めてコロナ禍における公民館活動、公民館の役割を考える機会となつた。公民館活動において、マスクの着用、検温、3密を避ける配慮など、新たな約束事ができ、参加者の声も反映しつつ、オンライン講座等新しい講座のあり方も含め、より一層の充実を図つていきたい。

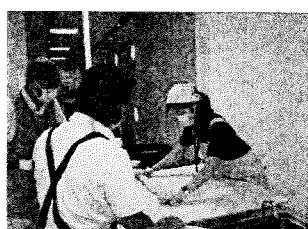
中 央 公 民 館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
たのしい書道教室	6月～7月	5回	7人	30人
台湾風ストレッチ～樂筋操～	6月～7月	5回	9人	36人
初心者の手作りパン教室①	6月	2回	9人	17人
初心者の手作りパン教室②	7月	2回	8人	16人
料理教室	6月～3月	6回	11人	人
男性クッキング	6月～3月	6回	12人 7月より16人	人
家でも簡単!!日本茶教室	6月～10月	5回	新型コロナウイルス 感染防止対策のため中止	
クラフトバンド・初心者教室	8月～12月	5回	13人	62人
季節料理教室	8月・12月	2回	12・16人	27人
ヨガ	8月～9月	5回	12人	48人
そば打ち教室	8月～12月	5回	11人	50人
バランスボールで弾もう！	9月～1月	5回	11人	人
絵画教室	10月～11月	5回	10人	41人
中央公民館文化祭	12月5日	1回	250人	250人



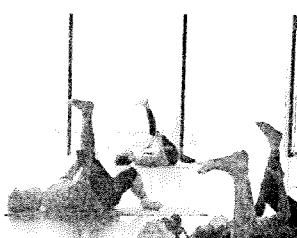
〈初心者の手作りパン教室〉



〈そば打ち教室〉



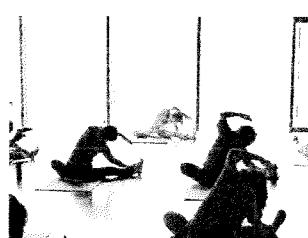
〈クラフトバンド初心者教室〉



〈台湾風ストレッチ～樂筋操～〉



〈バランスボールで弾もう！〉



〈ヨガ〉

◎わくわく体験教室

回	日 時	事 業 内 容	受 講 者 数
1	8月1日(土) 8:00~11:00	自然観察会	親子6組 16人
2	8月8日(土) 9:30~12:00	親子でクレイアート	親子7組 18人
3	8月21日(金) 10:00~11:30	地元のお茶を知ろう！	親子4組 9人



〈自然観察会〉



〈親子でクレイアート〉



〈地元のお茶を知ろう！〉

◎ボランティア文化教室

教室・講座名	回数	開設時期	受講者数
基礎料理教室	月2回	4月～3月 ※新型コロナウイルス 感染防止対策のため 4・5月中止 1・2月中止	18人
松柏盆栽教室	1回	6月9日	5人



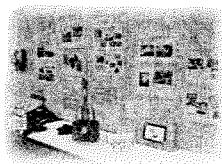
◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日／場所	学習テーマ	講 師	受講者数
1月28日(木)	～子どもの人権と 私たちの役割～	春川政信	中止

◎中央公民館文化祭

“集う・学ぶ・結ぶ”をテーマに公民館講座の参加者や各サークルが日頃の公民館活動の成果を発表する場として開催し、多くの来館者に公民館活動を知っていただく良い機会となっている。今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、感染拡大防止のため、内容を一部制限し行つた。マスクの着用・手指消毒・検温・来場者名簿の記入等、参加者・来館者の皆様にご協力いただいた。音楽発表会では、舞台運営を出演団体で分担するなど、参加者同士の協力によって祭りを創り上げることで、相互の交流が図られ、仲間づくりへと繋げていくきっかけづくりが出来た。

1. 期日 令和2年12月5日(土)
2. 会場 市民交流プラザふくちやま
3. 主催 中央公民館



☆『作品展示・体験教室』

5日（土）午前9時30分～午後4時

出展団体 21団体 来館者数 250人

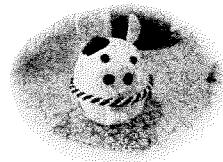
展示コーナー 中央公民館講座・地域公民館講座・公民館登録団体の
作品等による展示

〈公民館登録団体〉

パッチワーク同好会・福知山ペン習字教室・惇明書道会・えんぴつの森・
恭子クレイアート・ポルトガル刺繡同好会・福知山市日本中国友好協会・
クラフトバンド同好会・英会話サークルkeep21・福茶山の会・
らいちん同好会

体験コーナー 恭子クレイアート：クレイアート体験

公開講座 英会話サークルkeep21

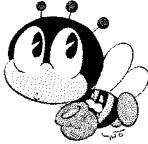


☆『音楽教室発表会』

5日（土）午後1時～ 市民交流スペース
コーラス・歌謡・ハーモニカ・大正琴

来館者数 130人
出演団体 5団体





令和2年度も生涯学習講座事業を通して、新しい学びのきっかけづくりや親子のふれあい、世代間の交流等、新しい出会いから広がる人の輪、地域の輪を繋げていくために、一般講座12講座、わくわく体験教室3教室、ボランティア文化教室2教室を開催した。

新型コロナウィルス感染症の流行により、講師の先生と相談し、中止せざるを得なくなった講座もあるが、人数制限された会場に合わせて定員数を減らすなど、感染防止対策を参加者にも協力いただき、実施した。

◎講座事業等について

【中央公民館講座】 12講座

・継続講座9講座

- ・たのしい書道教室(5回)・料理教室(6回)・男性クッキング(6回)・そば打ち教室(5回)
- ・絵画教室(5回)・家でも簡単!!日本茶教室(5回:中止)・バランスボールで弾もう!(5回)
- ・季節料理教室(2回)・クラフトバンド初心者教室(5回)・台湾風ストレッチ～楽筋操～(5回)
- ・初心者の手作りパン教室(4回)

・新規講座3講座

- ・ヨガ(5回)・

各講座には、子育て世代から高齢の方まで幅広い年代層の参加があり、皆さんが意欲的に取り組み、参加者同士の交流も図れた。体を動かす講座においては、講座終了後、昨年度発足した受講者による自主的なサークル活動に、参加される方もあり、自粛により様々な活動機会が減っているなかでも、活動を通してふれあいや交流を深める場である公民館として、これからも引き続き活動の場を提供していきたい。コロナ禍における公民館活動、オンライン講座等新しい講座のあり方も含め、より一層の充実を図っていきたい。

【わくわく体験教室】 3教室

夏休み期間を中心に親子で参加できる講座として開催

- ・自然観察会と標本づくり
- ・地元のお茶を知ろう!
- ・親子でクレイアート

どの教室も新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策のため人数制限をし、マスクの着用、検温と消毒を参加者の皆さんにお願いし、開催した。人数制限のためキャンセル待ちで参加できなかつた方も多かった。

各教室では密にならないよう配慮し、教室の進め方についても工夫をしていただいた。

「自然観察会」では、三段池周辺を散策し、地層や昆虫、植物を観察した。マスクを着用しているため熱中症には十分注意してもらった。また、標本の作り方を教わり植物の標本を作った。祖母と孫とで参加していただいた方もあり、世代を超えた学び・ふれあいの場を作ることができた。

【ボランティア文化教室】 2教室

「基礎料理教室」(講師:つくしの会)は、年間を通じ月2回「実習を通して次の世代に伝えたい福知山の食文化」を目的として開催している。調理の基本を大切にしながら、季節を取り入れた実習がおこなわれ、夜の教室として、昼間にお仕事されている方には参加しやすい教室となっており、男性の参加者も増加している。今年度は、新型コロナウィルス感染症の流行により、4～5月、1月～2月は中止となった。

「松柏盆栽教室」(福知山盆栽愛好会)は、それぞれの季節の手入れの仕方や植替えなど、盆栽作りの基本を学べる場として、年間5回(うち1回は文化協会主催の文化教室として開催)計画している。今年度は、新型コロナウィルス感染防止のため、6月・9月の2回のみの開催となった。

◎活動支援団体

福知山高齢者大学

福知山高齢者大学は「高齢者が、お互いの人間性を高めるため、健康に留意し、趣味や教養を深め、自らが積極的に時代に適応した学習をおこない、いたわり、励まし合い、生涯学習を通して、社会参加を進め自分たちの生活を生き生きと充実したものにすることを目的とする」という趣旨に則り、各地域から選出された実行委員により、講座の企画から運営までを自主的におこなっている。

令和2年度は全12回を計画し、受講者の募集をしましたが、緊急事態宣言が発令され、夏以降の開講を目指していましたが、運営委員会で協議の結果、新型コロナウイルスの流行に伴い、今年度は中止となりました。

◎中央公民館利用状況（令和2年1月～令和2年12月）

(単位：件)

室名	アトリエ	会議室4-1	会議室4-2	けやきの間	うぐいすの間	クッキングルーム	合計
件数	150	377	430	135	138	151	1,381

◎中央公民館利用者数（令和2年1月～令和2年12月）

(単位：人)

月別	利用者	月別	利用者	月別	利用者	月別	利用者
1月	2,938	4月	548	7月	1,770	10月	2,495
2月	3,926	5月	50	8月	1,559	11月	2,656
3月	494	6月	1,236	9月	1,546	12月	3,366
						計	22,584

令和2年度 第2回市立公民館運営審議会（3月4日）

川口地域公民館

1 令和2年度事業取組の重点

- (1) 子どもから高齢者まで、誰もが気軽に利用できる地域公民館づくり、明るく働きやすい職場環境づくりを構築し、「人・情報・笑顔」の集まる場所づくりを目指す。
- (2) 地域・世代間の交流を促進し、楽しい地域づくりのための生涯学習を推進する。
- (3) 明るく住みよい地域づくり活動の一環として、人権教育、心の教育を推進する。

2 事業の概要及び特徴的な事業等

学習活動の推進・・・一般講座・教室の開催（下線は本年度初講座）

① エコクッキング教室	5回	受講者数 16人	受講延人数 80人
② 健美操体操教室	5回	受講者数 22人	受講延人数 82人
③ 自己を見つめる教室	3回	受講者数 17人	受講延人数 26人
④ 男性の料理教室	3回	受講者数 6人	受講延人数 16人
⑤ <u>季節のリース手作り教室</u>	2回	受講者数 10人	受講延人数 14人
⑥ <u>手打ちそば教室</u>	2回	受講者数 10人	受講延人数 14人
⑦ <u>クラフトバンド教室</u>	1回	受講者数 6人	受講延人数 6人
⑧ <u>手足もみ健康教室</u>	3回	受講者数 10人	受講延人数 20人
⑨ <u>親子グラウンドゴルフ教室</u>	1回	受講者数 18人	受講延人数 17人
⑩ 親子料理教室	1回	受講者数 8人	受講延人数 8人

今年度は10講座を実施し、内5講座を新規開催。受講者数151名、延人数311名でした。また、新型コロナウィルスの影響で、本市のガイドラインに沿いながら、日程を調整し実施しました。

毎年受講者にアンケートを取る中で、今年度についてはご希望の教室・講座にお答え出来たか分かりませんが、地区内外問わず多くの方に参加していただき交流が出来たのではないかと思います。受講者の中には、「私が習いたい講座が沢山あり参加させていただきました。」と言うお声もいただきました。

また、長く続いてきた川口地域人権教育推進協議会が、昨年度に閉会になり、今年度新たに川口地域公民館運営協議会の中に人権啓発部会を設け、「新型コロナウィルスと人権」～現在のコロナ禍における学校での人権教育について～をテーマに、川口中学校・上川口小学校の両校長による講演を計画し、12月10日実施しました。

「共に幸せを生きるまちづくり人権講演会」については、「子どもへの暴力防止のために地域にできること」をテーマに、ふくちやま CAP 足立淳子さんより10月30日講演していただきました。

3 成果と課題

今年度は、講座・教室については、その時に応じて対応しながら開催し、地区内外問わず多くの方に参加していただき交流でき、学んでいただけたのではないかと思います。

また、この状況下の中で、各地区ともに事業が中止になり交流の場が無くなりましたが、来年度は各地区、地域公民館、として事業の開催を目指し多くの方に学ぶ楽しさ生かす喜び場を提供し、交流を深めて行きたいと思います。

川 口 地 域 公 民 館

◎一般事業・講座

事業及び教室講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
エコクッキング教室	7月～12月	5	16人	75人
健美操(体操)教室	7月～9月	5	22人	82人
自己を見つめる教室	9月～11月	3	17人	26人
男性の料理教室	9月～11月	3	6人	16人
季節のリース手作り教室	11月～12月	2	10人	14人
手打ちそば教室	9月～10月	2	10人	14人
クラフトバンド教室	6月	1	6人	6人
手足もみ健康教室	7月～8月	3	10人	20人
親子グラウンドゴルフ教室	10月	1	18人	17人
親子料理教室	7月	1	8人	8人
川口運協人権啓発部会講演会	12月10日	1	21人	21人



【親子グラウンドゴルフ教室】



【手打ちそば教室】



【季節のリース手作り教室】



【クラフトバンド教室】



【手足もみ健康教室】



【健美操教室】



【親子料理教室】



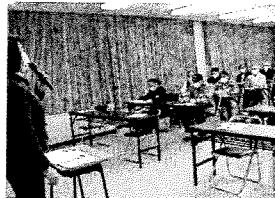
【男性の料理教室】



【エコクッキング教室】

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講演

月日／場所	学習テーマ	講師	受講者
10月31日(土) 川口地域公民館	子供の暴力防止のために地域にできること	足立 淳子	28人



◎心の教育実践活動



【川口学区 みんなの登校日】

【上川口保育園 チューリップ球根植え】

◎川口地域公民館運営協議会の活動

令和2年6月15日(月) 川口地域運営協議会 書面総会(：

7月 3日(金) 第1回 川口地域公民館運営協議会人権啓発部会 幹事会

8月 7日(金) 第1回 川口地域公民館運営協議会 役員会

8月26日(水) 第2回 川口地域公民館運営協議会人権啓発部会 幹事会

10月18日(日) 第2回 川口地域公民館運営協議会 役員会

12月10日(土) 川口地域公民館運営協議会人権啓発部会主催人権講演会

「新型コロナウイルスと人権」～教育現場の現状について～



【川口中学校の現状】



【上川口小学校の現状】

令和2年度をふりかえって 一川口地域公民館—

【一般講座・教室】

本年度も誰もが気軽に利用でき、地域づくりのための学習の場を提供する生涯学習の推進ということで、10の講座・教室を開講し、新規講座・教室も半数取り入れ実施しました。

しかし、一般講座・教室の受付が開始される前から新型コロナウイルスが全国的に流行し始め、開催も危ぶまれましたが、本市のガイドラインに沿いながら、講師の方と相談を重ね日程の延期などを行いながら、全日程を実施しました。また、新規講座・教室に関しては、地区外の申し込が多数で地区内外問わず交流が出来たのではないかと思います。

そして、継続が多い講座・教室に関しては、今後も学ぶ楽しさ生かす喜びの場として提供していきたいと思います。

【人権教育の推進】

本年度、長く続いてきた川口地域人権教育推進協議会が、昨年をもって閉会になり、新たに川口地域公民館運営協議会の中に入権啓発部会を設け人権に関わる事業を推進することになりました。

本年度の事業として「新型コロナウイルスと人権」をテーマに、川口中学校・上川口小学校両校長より現在のコロナ禍における学校での人権教育について講演を計画・実施しました。

また、両校の生徒・児童による人権標語の展示などもおこない人権意識を深められたのではないかと思います。

【共に幸せを生きるまちづくり人権講演会】

「子どもへの暴力防止のために地域にできること」と題し、ふくちやまCAP 足立淳子さんに講演を依頼実施しました。

子どもが、いじめ・虐待・性暴力や犯罪など危険な目にあわないで安全な環境で安心して成長してほしいと願い、CAP プログラム（子どもが様々な暴力から自分を守る暴力防止のための予防教育プログラム）を作成され家庭・地域・学校が一体となって子どもの安心・安全を守るお手伝いをされていて、芝居を交えながら講演され、聴講された方々は、地域の見守りが大切だということを再認識されたり、今後の活動に生かそうと意識されたりと、心に響いたようでした。

【心の教育実践活動】

本年度は各地区公民館のほとんどの事業が中止になり活動されませんでした。毎月11日にはあいさつ運動の実施。（各学校の校門付近、スクールバス停車場等）また、各保育園の花の球根植え、教育集会所による絵本の読み聞かせ。学校合同「みんなの登校日」開催など最小限の活動でした。

令和2年1月～令和2年12月
川口地域公民館・体育館 月別利用状況

月	開館日数	公 民 館												体 育 館												一日平均	
		会議室	料理室	和室	図書室	研修室	合	計	ツバ トス ケ	ンバ ドミ ン	バボ レ	ビ ルチ	そ の 他	合	計	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
1月	23	1	7	2	21	1	23	2	7	6	108	12	166	6	20	4	50	0	0	1	2	11	72	23	238	10.3	
2月	23	0	0	0	0	0	3	29	8	176	11	205	7	29	3	29	0	0	0	0	0	10	58	21	263	12.5	
3月	11	0	0	0	0	0	1	7	0	0	1	7	3	19	5	34	0	0	0	0	0	8	53	9	60	2.3	
4月	15	1	4	0	0	0	0	3	16	1	10	5	30	10	75	2	10	0	0	6	54	18	139	23	169	1.7	
5月	11	0	0	0	0	0	0	3	13	0	0	3	13	3	19	2	9	0	0	0	0	0	5	28	8	41	1.8
6月	25	2	6	0	0	0	0	2	8	1	10	5	24	2	6	6	15	0	0	6	95	14	116	19	140	7.4	
7月	25	2	10	3	32	0	0	1	30	2	19	8	91	2	10	6	22	0	0	4	70	12	102	20	193	7.7	
8月	26	1	11	0	0	1	7	1	20	5	64	8	102	0	0	3	19	0	0	4	139	7	158	15	260	10.0	
9月	24	2	14	2	28	1	10	2	8	4	88	11	148	0	0	5	21	0	0	14	805	19	826	30	974	40.6	
10月	27	1	5	3	33	2	17	3	14	5	53	14	122	1	9	4	31	4	45	0	0	9	85	23	207	8.3	
11月	25	6	64	4	74	3	62	2	13	10	125	25	338	4	42	3	23	4	43	2	53	13	161	38	499	20.8	
12月	23	2	81	2	96	1	80	0	0	8	171	13	428	2	11	4	18	0	0	4	104	10	133	23	561	26.7	
計	258	18	202	16	284	9	199	23	165	50	824	116	1674	40	240	47	281	8	88	41	1322	136	1931	252	3605	150.2	
月平均	22	2	17	1	24	1	17	2	14	4	69	10	140	3	20	4	23	1	7	3	110	11	161	21	300	13	

1 令和2年度事業（取組）の重点

福知山市教育委員会の社会教育の重点・「心の教育」実践活動方針等に基づき、「ふれあい」を基本テーマに親子・家族・地域の絆を深める施策を中心に公民館の運営を進める。新しい講座の開設や参加層の拡大を図る。また、図書室を多くの人に活用できるよう整える。

- (1) 「親子・家族のふれあい」事業
- (2) 「地域のふれあい」事業
- (3) 「心の教育」実践活動事業

2 事業の概要及び特徴的な事業等について

- (1) 親子の体験やものづくりなどに挑戦する家族だんらん講座
 - ア 「親子陶芸教室」
 - イ 「親子で描くパステルのせかい」
- (2) 地域を知る講座、趣味を活かす講座など、より焦点化した講座
 - ア 「草木染め」
 - イ 「スイーツづくり」「なごみの生花」「そば打ち」「コーヒーの入れ方」「編み物」「飾り巻きずし」「男の料理」
- (3) 心の教育実践発表会とふれあい発表会
 - ア 「心の教育実践発表会」
 - イ 「ふれあい発表会」
- (4) 作品展示会
- (5) 人権教育の推進
 - ア 共に幸せを生きるまちづくり人権講座（9月11日）
- (6) 図書室の充実
 - ア 机の配置を工夫し、小中学生、高校生が落ち着いて学習できる空間を整える
 - イ 蔵書の配置を変えて、幼児から大人までが読みやすく探しやすい並びにする

3 成果と課題（次年度に向けて）

(1) 講座関係

コロナ禍の中で6月から講座も再開できたが、人数を減らして密にならないように配慮した。食に対する関心が高く、飾り巻きずしやスイーツづくりなどマスターしようと参加者が質問をしたり、メモを取ったりして意欲的だった。男の料理教室やそば打ちも大変熱心に取り組まれた。講座は、2～3年サイクルで継続したり、新しい講座を開催したりしながら地域住人のニーズをリサーチして、より広い年齢層に活用していただけるようにしていった。

(2) ふれあい事業

「心の教育」実践発表会は、体育館で開催できたが、実行委員会の方のみへの案内とした。学校と地区公民館から実践発表をお世話になり、実践が少ない中でもこれまで培われてきた独自の取り組みを学ぶことができた。また、当館で活動しておられる同好会や教室の団体に発表する機会が持てたことも意義があった。

(3) 人権教育

地域のコミュニケーションの大切さを学ぶことができた。

(4) 図書室の活用

図書室の蔵書を種類ごとに配置換えをした。また、学習スペースと幼児や小学生がゆったり過ごせるようにカーペットを敷いた。本を借りる人が増えたのが大きな前進。次年度は図書室で読み聞かせや読書ラリーなどの取り組みを計画したい。

日新地域公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
かんたんヨガ教室	5月～6月	3回	一	コロナで中止
草木染め教室	6月・10月	2回	5人	8人
飾り巻きづくり教室	6月～7月	2回	12人	24人
趣味を活かす スイーツづくり(前半)	6月～7月	3回	8人	24人
シニアノルディックウォーク	6月14日	1回	一	コロナで中止
美味しいコーヒーの入れ方教室	6月20日	1回	14人	14人
親子陶芸教室(土コース)	7月～8月	2回	26人	49人
親子陶芸教室(日コース)	7月～8月	2回	24人	46人
動くおもちゃ製作教室	7月25日	1回	一	コロナで中止
なごみの生花教室	8月～12月	5回	5人	22人
親子で描くパステルの“せかい”	8月22日	1回	23人	23人
趣味を活かす スイーツづくり(後半)	9月～10月	3回	8人	23人
かんたんな編み物教室	9月～10月	4回	12人	48人
女性学級 いがいと簡単シュウマイづくり	9月12日	1回	12人	12人
俺にまかせろ 男の料理教室	9月～11月	3回	8人	23人
女性学級 七宝体験	10月3日	1回	7人	7人
地域を知る“長田野工業団地”	コロナで中止	1回	一	コロナで中止
初めての そば打ち教室	12月	3回	5人	14人



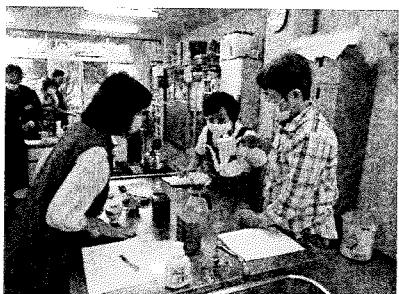
〈草木染め教室〉



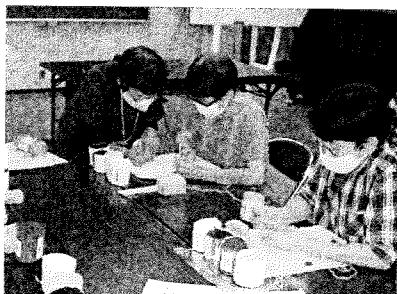
〈趣味を活かす スイーツづくり(前半)〉



〈飾り巻きずし教室〉



〈美味しいコーヒーの入れ方教室〉



〈かんたんな編み物教室〉



〈親子で描くパステルの“せかくい”〉

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日／場所	学習テーマ	講師	受講者数
7月10日(金) 地域公民館	子どもの人権	ちめいど	コロナで 中止
9月11日(金) 地域公民館	『共に生きる地域づくり』 ～つながり・見守り・支え合い～	「夢ほこら」主宰 松尾 弥生	22人

日新地域公民館運営協議会の活動

コロナ禍で中止した事業

◎年度当初総会・年度末総会

◎地区公民館役員研修会

◎21日新夢と希望の会

◎体育事業活動

(1)第13回 日新子ども綱引き大会 7月12日(日) 予定

(2)第22回 日新ビーチボールバレー大会 7月12日(日) 予定

◎文化事業活動

(1)日新ふれあいまつり in 2020 11月14日(土)・15日(日) 予定

(2)第13回 日新子どもカルタ大会 1月16日(土) 予定

(3)第37回 日新囲碁・将棋大会 1月24日(日) 予定

実施した事業

◎環境整備 5月17日(日)・9月6日(日)



【一般講座・教室】

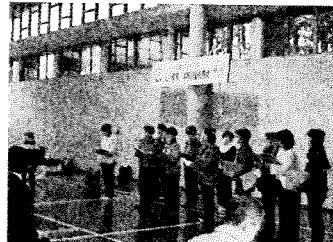
本年度、16の教室を開講しました。講師には地域の方々や各団体の皆さんに大変ご協力をいただきました。新たに開講したのは『かんたんな編み物』『飾り巻きし』『コーヒーの入れ方』です。また、女性学級（地域の女性の親睦の場）として『簡単シュウマイづくり』『七宝焼き』講座を開講し、コロナ禍で人数を減らしてではありましたが、参加者に楽しんで学んでいただきました。親子体験教室は3講座予定していましたが、「動くおもちゃ製作教室」はコロナ禍の影響で府立工業高校から準備期間が持てないと申し入れがあり中止しました。「親子陶芸教室」と「パステルのせかい」は夏休みを利用して開催できました。親子と一緒に制作する中で、家族で協力する姿や教えあう姿が見られ、笑顔いっぱいでの作品を完成することができました。講師の方の丁寧なアドバイスもありレベルの高い作品に仕上がりました。今後の課題は、日中に働いている若年層や幼児・小中学生を対象にした講座や教室を開くために時間帯や時期を開拓していく必要があると考えています。

【心の教育実践活動】

毎月11日を基本に「あいさつ運動」「家族だんらんの日」を推進してきました。各地域の団体の方の協力や参加があり、子どもたちも元気にあいさつを交わして安心して登下校ができます。

「心の教育実践発表会」は、人数を制限して行いました。遷喬小学校と成仁地区公民館にお世話になりました。遷喬小学校は「遷喬キラキラ大作戦」と題して、学校生活で大切にしている実践を紹介していただきました。成仁地区公民館は「誰もが住みたい住み続けたい町」で、成仁地区がまだまだ発展途上の街であり若さ溢れる活動を今後も推進していくこれから町づくりに参考になる発表でした。昨年までは中高生の吹奏楽やプラスバンドによる音楽演奏会を同時開催していましたが、本年度は生徒の安全を考えて中止しました。それに代わる取り組みとして、当館で活動されているクラブや同好会の4団体に発表を依頼しました。コロナ禍で発表の機会が皆無になっていたのでとても喜んでいただきました。

地域のふれあいまつりも中止になりました。製作されて作品を展示する機会を提供する観点から、当館で活動している団体や教室の作品展も開きました。多くの人が訪れ、双方向に喜んでもらえました。



【人権啓発活動】

「共に幸せを生きるまちづくり人権講座」を7月と9月に計画しました。7月の「子どもの人権」（講師：ちめいど様）は中止しました。9月は松尾弥生様を講師に迎え「共に生きる地域づくり」と題し、クイズを交えて地域でのコミュニケーションの大切さなどを学びました。心の教育実行委員のみの案内でした。

【図書室の充実】

図書室の配置と図書の並び替えを行いました。学習スペースと幼児・小学生の読書スペースを分けて、集中して学習したり、談話や調べ学習をしたりできるようになりました。利用者も増え、貸し出しも延べ70名に達しました。多くの方に利用していただくように、たよりで案内をしたり図書室での催しをしたり今後も継続して取り組んでいきます。

日新地域公民館・体育館利用状況

令和2年1月～12月

月別	開館日数	公 民 館						体 育 館						総 計	一日平均																				
		和室	工作室	会議室	料理室	研修室	図書室	その他の	合計	卓球	バスケット	バレーボール	ビーチボル	ソフトバレ	その他																				
1月	23	5	290	1	4	12	106	2	55	7	308	22	102	23	111	72	976	17	109	9	87	1	9	0	0	5	42	0	0	32	247	104	1,223	5	53
2月	23	4	69	3	11	13	98	3	69	3	136	23	114	20	79	69	576	14	130	12	92	1	10	0	0	9	61	1	2	37	295	106	871	5	38
3月	11	0	0	1	7	8	50	0	0	0	0	23	25	136	42	216	7	34	6	73	0	0	0	3	20	1	10	17	137	59	353	5	32		
4月	15	0	0	0	0	3	12	0	0	1	23	8	11	23	96	35	142	7	31	9	88	1	6	0	0	2	11	4	32	23	168	58	310	4	21
5月	11	0	0	0	0	2	12	0	0	1	14	10	51	21	111	34	188	3	10	2	12	0	0	0	0	0	0	1	2	6	24	40	212	4	19
6月	25	5	86	3	16	9	58	7	94	7	153	22	170	19	160	72	737	17	125	16	177	3	24	5	60	8	60	9	99	58	545	130	1,282	5	51
7月	25	6	86	5	69	8	44	6	52	5	131	25	206	22	106	77	694	18	134	19	182	8	60	6	54	6	56	10	113	67	599	144	1,293	6	52
8月	26	2	23	3	51	11	70	2	18	9	228	23	146	24	67	74	603	15	102	16	160	9	48	4	41	3	25	1	3	48	379	122	982	5	38
9月	24	6	83	5	23	7	34	5	68	11	279	23	130	18	61	75	678	17	109	17	174	0	0	5	43	5	37	0	0	44	363	119	1,041	5	43
10月	27	6	88	8	59	11	58	6	52	13	293	27	168	22	62	93	780	19	158	18	168	0	0	7	78	8	58	0	0	52	462	145	1,242	5	46
11月	25	5	102	6	38	9	53	4	45	9	240	25	144	20	178	78	800	18	161	16	153	1	2	6	53	4	27	3	117	48	513	126	1,313	5	53
12月	23	2	14	4	28	9	44	4	28	8	198	22	113	19	44	68	469	14	111	15	157	1	8	1	7	7	42	3	123	41	448	109	917	5	40
計	258	41	841	39	306	102	639	39	481	74	2,003	238	1,378	256	1,211	789	6859	166	1,214	155	1,523	25	167	34	336	60	439	33	501	473	4,180	1,262	11,039	58	486
平均	22	3	70	3	26	9	53	3	40	6	167	20	115	21	101	65.8	572	14	101	13	127	2	14	3	28	5	37	3	42	39	348	105	920	5	40

令和2年度 第2回市立公民館運営審議会（3月4日）資料

北陵地域公民館

1 令和2年度事業（取組）の重点について

- ①北陵地域唯一の公共施設であり、多くの地域住民が和気藹々と集える場所として利用推進を図り、公民館行事・講座の参加者を毎月発行している公民館のより及び福知山市ホームページ等で広報活動を行い、地域や世代を超えた交流がより多くの方々にできる様努めた。
- ②金山地域にある「金山教育集会所」が開催している事業・各種教室を支援した。地域活性化組織の雲原砂防イベント実行委員会の主催するいくつかの事業はすべて中止で支援出来なかった。
- ③北陵地域公民館運営協議会が主催する、「グラウンドゴルフ大会」は内容を一部簡素化し実施できた。「北陵地域公民館まつり」は中止となった。

2 事業概要および特徴的な事業等について

①北陵地域公民館運営協議会事業

「グラウンドゴルフ大会」6月・10月の2回開催（6月は中止）

「北陵コミセン草刈」6月28日

「北陵地域公民館まつり」11月15日予定（中止）

②人権教育の推進

・共に幸せを生きるまちづくり人権講座の開催

北陵地域公民館 10月18日—講師：和田 大顕さん

「幸せってなに」

北陵地域公民館 11月17日—講師：北陵地域「公民館まつり」内での
催し。中止

・地区巡回人権講座 雲原公民館 8地区 中止

金山公民館 5地区 中止

③心の教育実践運動（毎月11日）

- ・挨拶運動—参考：上川口小2人・川中7人・修正小1人・成和中5人
- ・家族だんらんの日

④講座・教室関係

新規講座

- ・楽災ワークショップ「楽しくおいしく防災を学ぶ」（6月・7月・8月）3回
- ・地域ふれあい講座・地域作りを先進地域から学ぶ（10月頃予定も中止）
- ・草木染教室（8月）1回、要望が多く復活した講座

継続講座

- ・エコ・ECO教室「Gパンリメイクバッグ」（6月）3回開催
- ・手作りこんにゃく（11月）1回開催
- ・いろいろばた～温故知新～（12月）1回開催

その他一般教室

- ・陶芸教室（クラブにて運営）休講

3 成果と課題（次年度に向けて）

講座や教室はどんな内容が皆さんに受講してもらいやすいのかを考え、受講者の講座内容の需要をとらまえていくことが今後の課題である。また、講座を通じて、地域に残る伝統文化や地域の語り部などを後世に残し伝えていくことも大切な仕事であると考えている。地域の文化や立地条件などを大いに活用し、多くの人が面白いなと興味を抱く講座や催し物を発信して、地域内外の交流が盛んになっていくことを望んでいる。

公民館の位置づけとして、地域住民のために社会教育に推進する拠点施設として中心的な役割を果たすこと、また公民館は仲間同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献することをさらに推進させていかなければならないと考える。生活の中で気軽に人々が集うことができる場、自らの興味関心に基づいて、また社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶ場、地域のさまざまな機関や団体の間にネットワークを形成する中核的組織でありたい。

農村部である当北陵地域では、少子化が加速し人口が大幅に減少、またその少ない人口のなかでの住民構成では高齢者が半数を超えており、すべての住民が生活しやすい地域づくりが大切であると考える。その地域の中で、公民館の役割として「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を基本とした事業を展開していくのだがとりわけ、3項目目の「むすぶ」を充実させていく必要があると。人々が集まったり、学習したりすることは、生活の基盤が安定していることの上に成り立っている、地域の方々が普通に生活をする、また今以上に快適に生活ができる、そういった地域作りが必要で、地区公民館地域内の複数自治会がそれぞれの自治活動を繋げそれが刺激しあい、全体の地域社会を向上させる、その役割を担う、また時には行政の窓口になり地域住民とはより近い位置でいろんな声を聴いていっしょに考える。地域の生活基盤、福祉・交通・防災等、「地域づくり」を地域の方々と一緒に考え行動する、こういった事が今後の公民館が地域に存在する意味を成すのではないかと考える。

北陵地域公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
たのしくおいしく防災を学ぶ 楽災ワークショップ	6月～8月	3	19	47
エコ・ECO教室	6.12、19、29	3	5	13
草木染教室	8.29	1	6	6
共に幸せを生きるまちづくり人権講座	8月中止 10.18	2	20	20
地域ふれあい講座	10月	1	-	中止
公民館まつり	1.15	1	-	中止
手作りこんにゃく教室	11.23	1	17	17
ふるさと再発見いろりばた～温故知新～	12.19	1	10	10



楽災ワークショップ



楽災ワークショップ



楽災ワークショップ



エコ・ECO教室



エコ・ECO教室



草木染教室



手作りこんにゃく



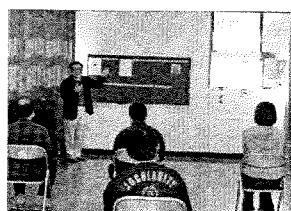
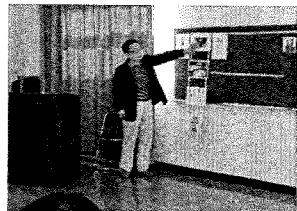
手作りこんにゃく



ふるさと再発見いろりばた
～温故知新～

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

開設時期	学習テーマ	講師	受講者数
8月 4日(日)	「幸せってなに」	和田 大顕	20
11月15日(日)	—	—	中止



◎北陵人権を考える会

開設時期	テーマ	講師	受講者数
中止			

◎クラブ活動

クラブ名	開設時期	会員数	延べ参加者数	代表者
陶芸クラブ	休止	5人		

北陵地域公民館運営協議会の活動

令和2年

- 3月27日 北陵地域公民館運営協議会総会開催(元年度事業報告・決算報告) 書面通達
 5月20日 北陵地域公民館運営協議会総会開催(元年度事業計画・予算計画) 書面通達
 6月13日 北陵コミセン草刈事業
 10月16日 北陵地域「公民館まつり」実行委員会中止→正副会長事務局会議
 11月15日 北陵地域「公民館まつり」中止
 11月22日 グラウンドゴルフ大会開催(参加者30名)

令和3年

- 2月 北陵地域「雪まつり」 中止

令和2年度をふりかえって

－北陵地域公民館－

【一般事業・講座】

令和2年度の北陵地域公民館の一般講座は新規・継続含め7講座開催を予定していて、そのうちの5講座を実施しました。継続の講座は「えこ・ECO教室」「草木染教室」「ふるさと再発見いろいろばた」で、毎年拝見する方や新規の方がお互いに教え合いながら作業を進められ、また地域内のみならず地域外からも参加され、良い交流ができました。新規講座として、「楽しくおいしく防災を学ぶ 楽災ワークショップ」を開催したところ、公民館の講座事業としては今まであまり取り上げられていなかった、防災についての講座で、何時なんどき起こりうる災害に対して、日頃から家族間での行動把握・避難経路や遂行品を準備すること、いざ有事となった時の自分たちの取るべき行動そして飲食・滞在の仕方を学ぶ機会で、非常に身近なテーマで、楽しい中にもしっかりととした内容で、受講者の方からは、大変良く考えさせられたと感想をいただきました。また人気講座の「手作りこんにゃく」講座では地域伝統食品の「雲原こんにゃく」の独特的な製法を学ぼうと春の募集時にすでに定員近くの参加希望の連絡がある人気講座で、受講された方々は和気藹々の中、いろんな多くの質問をされ、後、自分で作るにあたって、手ごたえが感じられたと非常に満足していました。今後も継続講座と合わせて、地域の匠を発掘して地区ごとの特色を見出し、地域の伝統・芸能・文化を学び、また生活の中で欠かせないテーマを取り上げ、地域全体で未来に引継ぐ講座も計画いたします。

北陵地域公民館運営協議会の主催として、「グラウンドゴルフ大会」を今年度も2回計画しましたが、1回目はコロナで中止でしたが、2回目は若干終息の気配が見えたので開催しました。大会では高校生から95歳まで30名の参加があり、日頃ふれあう事が無い年代や地域の方々がプレーを通じて目標を共有共感する大変良い交流となりました。

11月開催の「北陵地域公民館まつり」は、中止となりました。例年なら【共に生きるまちづくり人権講座】の一講座を午前中に開催し、単独では中々受講者が集まりにくかったりするのですが、「公民館まつり」として来場されている方々が受講参加いただくと、大勢が参加していただき賑わう予定でしたが、残念でした。

【共に幸せを生きるまちづくり人権講座・北陵人権を考える会】

「共に幸せを生きるまちづくり人権講座」は「幸せってなに」という題材で、ある小学生の女の子が、母親が闘病生活で長く入院となり、その間、祖母に育てられたのですが、参観日には祖母に学校に来てほしくないと言ったりして、一時は反抗した時期もあったのですが、高校の卒業式に祖母に感謝の気持ちを手紙に綴って伝えたという話で、参加された方々は心温める思いで受講していました。

【心の教育実践活動発表】

北陵地区は地域内に学校が無いため子供達と地域住民がふれあうには、催しやイベントを通じて交流する機会しかなく、そういうものを積極的に設ける必要がある。また子供たち同士の交流でも、北陵地域は雲原と金山で地域行事が分かれている、また金山地域内では小学校・中学校共、学区が2つに分かれています、同じ地域内なのに子ども間の交流が無い状況である為、なお更その必要性がある。全体の地域での催し、また、それぞれの地区の伝統的な行事参加で子供達が地域の中に入っていく交流できる機会を設けて、兼ねなく子供とも大人とも話をし、互いに協力しあえる関係の構築・学習することを目的として、いろんな行事催しを計画する。地域が積極的に子どもたちとふれあい、地域の絆や地域力を向上させることを子どもたちに理解してもらえる場所つくりを構築していくなければならない。今年度は多くの行事が中止になったが、それでも数少ない事業では子どもたちと地域で絆を深めることができた。コロナ化で変わりゆく人と人の繋がりの在り方を、柔軟な対応で変革ていき、人と人との強い絆をさらに強める活動を意識して計画をしていきたいと思う。

月	開館日数	公 民 館										体 育 館					運 動 場			1 日 平 均																		
		会議室			実習室			共用		研修室		調理室		図書室		合 計		バ レ エ ス ケ ト ボ ル		卓 球		バ ト ミ ン ト		剣 道		そ の 他												
		1号	2号	共用	1号	2号	共用	1号	2号	共用	1号	2号	共用	1号	2号	共用	1号	2号	共用	1号	2号	共用	1号	2号	共用	1号	2号	共用										
1	23	1	24	1	3	1	41	1	20	0	0	1	52	1	2	0	0	6	142	4	92	0	0	0	0	0	0	4	92	0	0	10.17391						
2	23	0	0	0	0	0	1	40	1	22	0	0	1	49	0	0	0	0	3	111	0	0	1	11	0	0	0	1	11	0	0	4	122	5.304348				
3	26	0	0	0	0	0	7	142	0	0	0	0	1	40	1	10	0	0	9	192	4	73	3	37	0	0	1	2	56	2	34	12	202	0	0	21	394	15.15385
4	24	0	0	1	3	4	153	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	6	161	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	1	44	3	49	1	30	10	240	10
5	23	0	0	1	7	2	82	0	0	0	0	0	0	2	26	0	0	5	115	1	40	0	0	0	0	1	2	0	0	2	12	4	54	4	160	13	329	14.30435
6	26	2	37	5	30	0	0	2	14	0	0	0	0	1	8	0	0	10	89	6	290	0	0	0	0	0	0	2	80	1	11	9	381	2	25	21	495	19.03846
7	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	105	1	10	2	115	4.6	
8	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
9	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
10	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
11	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
12	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
計	289	3	61	8	43	15	458	4	56	0	0	3	141	6	51	0	0	39	810	16	600	4	48	0	0	4	9	4	136	6	101	34	894	9	255	82	1959	6.778547
平均	24.08	0.3	5.1	0.7	3.6	1.3	38	0.3	4.7	0	0	0.3	12	0.5	4.3	0	0	3.3	67.5	1.3	50	0.3	4	0	0	0.3	0.8	0.3	11	0.5	8.42	2.8	74.5	0.75	21.3	6.83	163.3	0.564879

令和2年度 第2回市立公民館運営審議会(3月4日)資料

六人部地域公民館

1 令和2年度事業(取組)の重点

地域と共に熱意と情熱を持って「打てば響く公民館」の確立を方針に、「六人部はひとつ」の理念のもと、「いつでも」「どこでも」「誰でも」が学べる生涯学習の拠点となり、自発的な学習活動への情報提供と学習成果の活用を図る。

2 事業概要及び特徴的な事業等について

(1) 「心の教育」実践活動関係

ア 世代間交流・花いっぱい運動【中学校・小学校・4保育園で実施】

全て各学校、園のみでの開催となりました。

* 六人部中学校 (R2.06.15) * 六人部小学校 (R2.06.10)

* 上六人部保育園 (R2.05.21) * 中六人部保育園 (R2.06.03)

* 下六人部保育園 (R2.05.20) * 光保育園 (R2.05.19)

イ 「あいさつ運動」・「家族だんらんの日」啓発活動

* 実施日:4/10・5/11(中止)・6/11・7/10・9/11・10/11・12/11・1・8・2/10・3/11

六人部小学校近辺を中心に地区公民館、自治会、民生委員など地域一体となって取り組んでいます。9月からは六人部中学校でも実施しています。

* 「家族だんらんの日」特化事業・家族だんらん風景絵画カレンダー作成

21点の作品の応募 地域内各戸配布

ウ 心の教育実践発表会…六人部小学校 (R2.11.19)

音楽発表会テーマ「音楽で世界は一つ」

エ 地域未来塾の開講(28年度～)開講日:R2.08.26 閉講日:R3.02.25(予定)

オ 福知山市こだま教育掲示文の年間表示板(A-5用紙24枚)の設置(23年度～)

* 毎月2回更新

(2) 一般講座関係【6講座25回】

講座名	回数	延人数	開催時期
タヒチアンダンス教室	6	33	6月～8月
楽しい陶芸教室	3	26	8月～10月
初心者の茶道教室	4	16	9月
初心者のパソコン教室	6	48	10月～11月
健康新体操教室	3	28	10月
ロコモ予防教室	3	23	10月～11月

3 成果と課題(次年度にむけて)

【講座・教室】

令和2年度の六人部地域公民館の一般講座は6講座25回を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「親子で学ぶ英語教室」、「小学生の英語教室」、「リラックスヨガ教室」、「かんたんエアロ教室」を中止しましたが、「中学校で学ぶパソコン教室」は、開催場所、内容を変更し、当館研修室にてパソコンを使って、スマホに撮りためた写真からアルバムを作ることを学びました。機器の持ち込みが前提となることから先生にはご負担をおかけしましたが、受講生の皆さんからは非常に満足いただける内容になったと思います。タヒチアンダンス教室は回数を増やし1曲踊れるようになりました。ロコモ予防教室を新たに追加開催しました。コミセンまつりで展示予定にしていた陶芸教

室の作品を中央公民館文化祭にて展示しました。

その他の講座についても人数制限をして、できる限りの予防対策をとった上で開催となりましたが、参加頂いた受講生の多くの方が、引き続いて同好会、教室に参加頂いています。また、次年度の参加希望も多数聞いています。

次年度についても現状のコロナ禍が予想されるなか、出来ること、出来ないことを精査し、新たなチャレンジ、新たな交流が出来る場所として講座の運営、実施に努めてまいります。

【心の教育実践活動】

「あいさつ運動」、「家族だんらんの日」推進活動を毎月11日を基準に実施しました。

公民館運営協議会を中心に、六人部小学校周辺、各集合場所、バス停、六人部中学校にて活動しました。

「世代間交流花いっぱい運動」では、例年の地域との交流は自粛しましたが、小学校、中学校、4つの保育園にて実施しました。花を植え、育てることで心豊かな、思いやりのある人に育ってくれることを願います。

11月に「心の教育」実践発表会を六人部小学校にお世話になりました。「音楽で世界は一つ」をテーマに音楽発表会が開催されました。

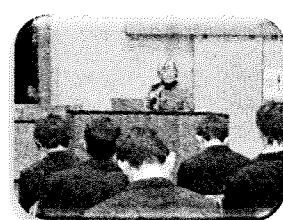
「家族だんらんの日」特化事業の取組みは、「家族だんらんの日」にちなんだ絵画を公募し、21点の作品から6点を選出して啓発カレンダーを作成しました。運営協議会の後援もあり、地域に各戸配布し、地域に啓発することが出来ました。心温まる絵画は公民館内で展示をしました。

「未来塾」は8月26日の開講式より2月25日まで40回、11名の生徒が熱心に学習することが出来ました。支援員の先生方の一人ひとりに寄り添った指導により「家で勉強する時間が増えた」「すぐに質問できて、よく理解できるようになった」などの感想を聞いています。身についた学習習慣を継続し、将来につなげてほしいと思います。

【一般事業】

六人部地域公民館では、7月に運営協議会、人権推進委員会の合同役員会を開催し、その後の活動について審議し、『六人部は命を守る』を第一に考えるという決議となりました。ほとんどの事業、行事について中止となりましたが、12月に「三六交流グラウンドゴルフ大会」を実行委員会を立ち上げて開催することが出来ました。上、中、下六人部の老人会、同好会を中心に、当日は晴天の下、楽しんで交流、競技いただきました。

六人部中学校つながロックボランティア運営部のアルミ缶回収に協力したことによって生まれた繋がりを元に、ボランティア講演会をプロデュースすることが出来ました。講師に「献血と骨髄バンクの和を広げる会」理事長の藤岡八重子様をお招きし、演題に『骨髄バンク講演会～骨髄バンク設立は実は福知山の中学生から～』をご講演頂きました。当日は、生徒44名、先生、地域関係者約60名の参加がありました。つながロックボランティア運営部の皆さんには「人のため・社会のためにできること」に積極的に取り組んでいく決意を聞いています。



本年度は当館最大のイベントであるコミセンまつり、また、人権講演会を実施できませんでした。次年度は、本年度の経験を生かしてより柔軟に対応し、充実した学習機会が提供できることを目指します。

六人部地域公民館

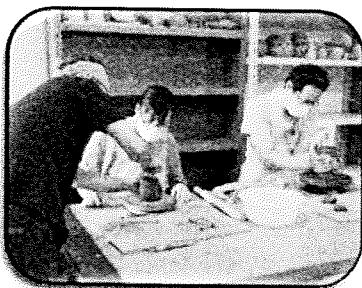
◎ 一般事業・講座

事業及び教室講座名	参加人員(人)	講座回数(回)	開設時期	受講延人数(人)
タヒチアンダンス教室	7	6	6月～8月	33
楽しい陶芸教室	10	3	8月～10月	26
初心者の茶道教室	4	4	9月	16
初心者のパソコン教室	8	6	10月～11月	48
健康体操教室	10	3	10月	28
口コモ予防教室	10	3	10月～11月	23
親子で学ぶ英語教室	—	4	6月	感染症拡大防止中止
かんたんエアロ教室	—	4	6月～7月	感染症拡大防止中止
小学生の英語教室	—	4	7月	感染症拡大防止中止
リラックスヨガ教室	—	5	7月～8月	感染症拡大防止中止

一般講座の風景



タヒチアンダンス教室



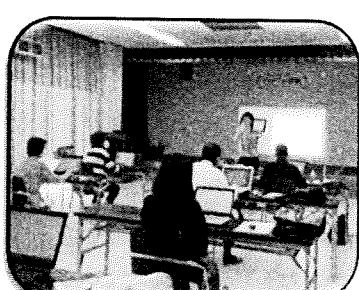
陶芸教室



茶道教室



健康体操教室



パソコン教室



口コモ予防教室

◎世代間交流・花いっぱい運動の様子

実施日	実施内容	実施場所 参 加 者	参加人数
5月19日	* 花の苗植	光保育園 ・5・4歳児・職員	43人
5月20日	* 花の苗植	下六人部保育園 ・年長組園児・職員	46人
5月21日	* 花の苗植	上六人部保育園 ・全園児・職員	76人
6月3日	* 花の苗植	中六人部保育園 ・5・4・3歳児・職員	47人
6月10日	* 花の苗植	六人部小学校 ・3年生児童・教員・地域公民館	80人
6月15日	* 花の苗植	六人部中学校 ・生徒(環境委員)・教員	17人
合 計			309人



光 保育園



下六人部保育園



上六人部保育園



中六人部保育園



六人部小学校



六人部中学校

◎その他事業

「心の教育」実践発表会 (会場:六人部小学校)	11月19日	750人
三六交流グラウンドゴルフ大会 (コミセングラント)	12月12日	120人

【講座・教室】

令和2年度の六人部地域公民館の一般講座は6講座25回を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「親子で学ぶ英語教室」、「小学生の英語教室」、「リラックスヨガ教室」、「かんたんエアロ教室」を中止しましたが、「中学校で学ぶパソコン教室」は、開催場所、内容を変更し、当館研修室にてパソコンを使って、スマホに撮りためた写真からアルバムを作ることを学びました。機器の持ち込みが前提となることから先生にはご負担をおかけしましたが、受講生の皆さんからは非常に満足いただけた内容になったと思います。その他の講座についても人数制限をして、できる限りの予防対策をとった上で開催となりましたが、参加頂いた受講生の多くの方が、引き続いて同好会、教室に参加頂いています。また、次年度の参加希望も多数聞いています。

次年度についても現状のコロナ禍が予想されるなか、出来ること、出来ないことを精査し、新たなチャレンジ、新たな交流が出来る場所として講座の運営、実施に努めてまいります。

【心の教育実践活動】

「あいさつ運動」、「家族だんらんの日」推進活動を毎月11日を基準に実施しました。公民館運営協議会を中心に、六人部小学校周辺、各集合場所、バス停、六人部中学校にて活動しました。

「世代間交流花いっぱい運動」では、例年の地域との交流は自粛ましたが、小学校、中学校、4つの保育園にて実施しました。花を植え、育てることで心豊かな、思いやりのある人に育ってくれることを願います。

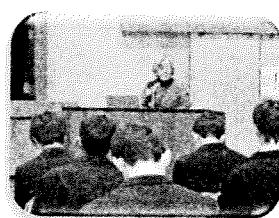
11月に「心の教育」実践発表会を六人部小学校にお世話になりました。「音楽で世界は一つ」をテーマに音楽発表会が開催されました。

「家族だんらんの日」特化事業の取組みは、「家族だんらんの日」にちなんだ絵画を公募し、21点の作品から6点を選出して啓発カレンダーを作成しました。運営協議会の後援もあり、地域に各戸配布し、地域に啓発することが出来ました。心温まる絵画は公民館内で展示をしました。

【一般事業】

六人部地域公民館では、7月に運営協議会、人権推進委員会の合同役員会を開催し、その後の活動について審議し、『六人部は命を守る』を第一に考えるという決議となりました。ほとんどの事業、行事について中止となりましたが、12月に「三六交流グラウンドゴルフ大会」を実行委員会を立ち上げて開催することができました。上、中、下六人部の老人会、同好会を中心に、当日は晴天の下、楽しんで交流、競技いただきました。

六人部中学校つながロックボランティア運営部のアルミ缶回収に協力したことによって生まれた繋がりを元に、ボランティア講演会をプロデュースすることが出来ました。講師に「献血と骨髄バンクの和を広げる会」理事長の藤岡八重子様をお招きし、演題に『骨髄バンク講演会～骨髄バンク設立は実は福知山の中学生から～』をご講演頂きました。当日は、生徒44名、先生、地域関係者約60名の参加がありました。つながロックボランティア運営部の皆さんには「人のため・社会のためにできること」に積極的に取り組んでいく決意を聞いています。



六人部地域公民館・体育館・運動場利用状況

令和2年 1月～令和2年 12月

月別 開館日数	公 民 館				体 育 館				運動場		総計						
	研修室	会議室	(自習室) 和室	実習室	その他	合計	ソビ トチ ババ レーリ	バ レー	テニス	バ ドミ ントン	バスケ ット	空手	その他	合計			
1 23	294	159	103	4	37	18	615	112	58	42	59	323	0	204	798	314 1,727	
2 23	197	211	61	5	44	26	544	122	70	27	60	272	0	86	637	282 1,463	
3 11	22	8	15	0	9	33	87	37	10	6	17	46	0	117	233	39 359	
4 15	40	29	0	0	14	41	124	53	35	21	13	255	0	40	417	148 689	
5 11	0	0	0	0	3	13	16	14	47	9	12	12	0	20	114	54 184	
6 24	50	67	46	0	57	413	633	105	195	32	47	495	0	100	974	309 1,916	
7 25	67	76	59	1	47	20	270	97	115	54	61	434	0	133	894	273 1,437	
8 26	134	72	81	0	41	17	345	46	45	28	70	235	0	153	577	465 1,387	
9 24	354	187	109	0	77	122	849	109	38	44	72	304	0	67	634	285 1,768	
10 27	427	93	65	4	68	22	679	127	94	38	74	313	0	71	717	256 1,652	
11 25	234	96	79	1	58	22	490	113	47	30	58	307	0	81	636	251 1,377	
12 23	168	82	71	0	53	15	389	103	109	30	51	311	0	45	649	387 1,425	
計	257	1,987	1,080	689	15	508	762	5,041	1,038	863	361	594	3,307	0	1,117	7,280	3,063 15,384

令和2年度 第2回市立公民館運営審議会(3月4日)資料

成和地域公民館

1 令和2年度事業(取組)の重点について

福知山市教育委員会の社会教育の重点・市立公民館の活動の重点・福知山市「心の教育」実践活動実行委員会方針等に基づき、地域住民の『交流の場』として、誰もが気軽に「集い」、「学び」、人と人との絆や地域の絆を深める「絆づくりの場」となるよう『笑顔あふれる公民館活動』を推進していく。

- (1) 地域住民の交流事業を通して、「絆」の大切さを学べるような事業の推進
- (2) 各種事業や講座・教室での世代を超えた交流
- (3) 地域人材の活用と指導者育成
- (4) 「コミセンだより」等を通した広報活動

2 事業の概要及び特徴的な事業等について

(1) 成和地域公民館運営協議会の事業(年間16事業)

- ア コミセンふれあいまつり(11月) ※各地区公民館協力
- イ コミセン杯各種球技大会 ※各地区公民館協力
- ゲートボール大会(6月 中止) ○成人男子ソフトボール大会(7月 中止)
- 成人女子ビーチボールバレー大会(7月 中止) ○成人女子バレーボール大会(11月)
- 高齢者グラウンドゴルフ大会(10月)
- ウ 文化的事業
- コミセン杯将棋大会(2月) ○お花見囲碁大会(4月 中止) <コミセン後援>
- エ コミセン清掃活動 <ボランティア>
- 周辺草刈作業(6月・8月) ……成和地域41自治会より各1名参加
- グラウンドや体育館使用団体による奉仕活動(6月・12月)
- オ 子ども交流大会(10月) ※各地区公民館協力
- カ その他の事業
- 総会(4月 中止・2月) ○幹事会(8月) ○事業検討会(3月)
- コミセンふれあいまつり実行委員会(9月・10月)

(2) 講座・教室の開催

◎全体で10講座(教室) 42回実施予定

- ①『人形作り教室』 ②『ヨガ教室』(中止) ③『剪定教室』(新規)
- ④『簡単エアロ教室』(中止) ⑤『小中学生将棋教室』(新規) ⑥『手作りパン教室』
- ⑦『農産加工教室』(新規) ⑧『親子工作教室』 ⑨『バドミントン教室』
- ⑩『住んでよかつた福知山“知って得する認知症予防”』(新規)

(3) 青少年の健全育成「心の教育」実践活動

- ア 各地区役員等による「あいさつ運動」(毎月11日)
- イ 家族だんらんの日(家庭・学校・地域住民が一体となった取組)
- ウ 地域未来塾(9月から2月まで実施予定)
- エ 親子参加の夏休み講座(親子工作教室 延期)
- オ 子ども交流大会
- カ 「心の教育」実践活動発表会

※各校での学習発表会・文化祭と『コミセンふれあいまつり』での作品や取組展示

キ 家庭で取組む食育活動(成和中学校)

ク 各地区公民館の事業(親子参加の事業・世代間交流事業)すべて中止

(4) 人権教育の推進

- ア 共に幸せを生きるまちづくり人権講座(10月)
- イ 各地区公民館・小中学校主催の人権講演会

(5) 各種クラブ・サークル活動(約55団体)への支援

(6) その他

3地区公民館(上豊富・修齊・天津)との連携と研修会(4館合同研修会)の実施

3 成果と課題（次年度に向けて）

（1）公民館運営協議会事業

- 人と人との絆や地域の絆を深める『絆づくりの場』として活動を進めてきました。
- 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため14の事業を中止しました。これらの事業（文化的事業含む）は開設以来毎年実施してきたものです。地域の皆さんとの交流と健康増進に貢献しているものなので、今後も実施していきたいと考えています。
- 毎年成和地域41自治会をはじめ、利用団体等多くの方に公民館の清掃作業をお世話になっています。改めて地域の皆様に支えられていることを実感しています。
- 「コミセンふれあいまつり」のように多くの方に参加いただけるような事業を企画していきたいと思います。

（2）講座・教室の開催

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のための3密等に配慮し、「ヨガ教室」と「簡単エアロ教室」を中止しました。また新たに「剪定教室」と「農産加工教室」の2講座を開設し、8講座26回の教室を計画・実施して、延べ422名に参加していただきました。昨年度からの傾向として、成和地域以外の参加が多く、女性の参加も増えています。
- 年々受講される方が高齢化する中で、今年は子どもや若年層にも参加できるような講座を企画したので、小学生や親子連れの参加が増えました。
- 講座終了後、参加した人たちでサークル活動につながるような講座を開設していきます。
- 2講座以外は講師を成和地域にお住まいの方にお願いしました。今後も講座を通して地域住民の交流を図り、新たな人材を発掘・育成していきたいと考えています。

（3）青少年健全育成「心の教育実践活動」の取組

- 各園・各学校が感染拡大防止対策をしながら、できる限りの取組をしていただき、その取組の成果を模造紙にまとめ、体育館への通路に掲示し来館者に見ていただきました。
- 各園・各学校・各地区公民館・地区の各種団体が連携し、それぞれの事業で工夫を凝らした活動を実施する予定でしたがほとんどできませんでした。次年度は各事業を通して、学校・家庭だけでなく地域一体となり、充実した取組を進めていきたいと考えています。
- 毎月11日の「いい日あいさつデー」では、各地域において各種団体役員の皆様・教職員及び保護者、児童生徒たちが通学路や校門前に立ち大きな声であいさつを交わしました。

（4）人権教育の推進

- 今年度は中止となりましたが、地域の課題にあった内容で実施していきたいと考えています。
- 学びと交流を通してお互いの人権を尊重することの大切さを学んでいきたいと思います。

（5）その他

- 地域公民館だけでは事業を実施することが難しいので、今後も3地区公民館との連携と研修会を今後も続けていきたいと思います。

成和地域公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
剪定教室	6月～10月	4回	18人	55人
ヨガ教室	中止	—	—	—
手作りパン教室	9月～11月	3回	20人	18人
農産加工教室	7月～11月	4回	9人	34人
簡単エアロ教室	中止	—	—	—
親子工作教室	10月11日	1回	親子6組	17人
知って得する認知症予防教室	9月～11月	5回	22人	112人
バドミントン教室	9月～11月	4回	29人	85人
小中学生将棋教室	11月～12月	4回	27人	96人
人形作り教室	1月30日	1回	5人	5人
心の教育実践活動発表会	10月～11月	—	—	1,455人
コミセンふれあいまつり	中止	—	—	—



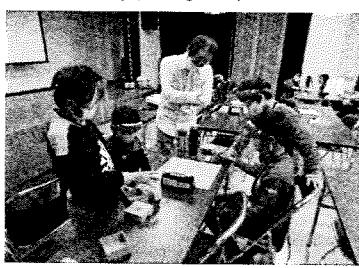
〈剪定教室〉



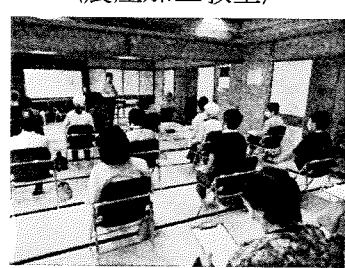
〈農産加工教室〉



〈手作りパン教室〉



〈小中学生将棋教室〉



〈知って得する認知症予防教室〉



〈バドミントン教室〉

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日	学習テーマ	講師	受講者数
中止	—	—	—

運営協議会の活動

○今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記の14の事業については中止としました。

- ・運営協議会検討会
- ・4館合同研修会
- ・コミセン杯争奪ゲートボール大会
- ・コミセン杯成人(男女)球技大会
- ・第1回コミセンふれあいまつり実行委員会
- ・第2回コミセンふれあいまつり実行委員会
- ・人権研修会(人権講演会)
- ・コミセン杯成人女子バレー大会
- ・第34回成和コミセンふれあいまつり
- ・コミセン杯将棋大会

◇運営協議会総会 書面決議としました。

◇運営協議会幹事会 「成和コミセンふれあいまつり」の開催について協議しましたが、地域の皆様の安心と安全を第一に考え中止することを決定しました。

◇運営協議会年度末総会 3月初旬に実施する予定です。

下記の事業については感染拡大防止対策を十分して実施しました。

【体育事業活動】

好天に恵まれ、多くの参加者を得て実施することができました。コミセン杯として実施していますが、年々参加者が減ってきているのが現状です。地域の皆さんとの交流と健康増進に貢献している事業であり、今後も実施していくかと思います。

(1)高齢者グランドゴルフ大会

○開催日 10月21日(水)

○参加者数 174人

○今年度は男女10位まで表彰しました。

毎年この大会を楽しみにしておられ、この日のために各地区で練習をされています。

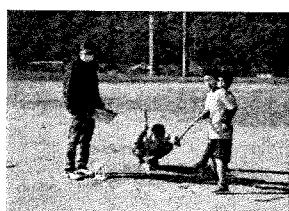


(2)子ども交流大会<グラウンドゴルフ大会>

○開催日 11月15日(日)

○参加者数 24人

○グラウンドゴルフは初めての児童が多かったです
が、豊富グラウンドゴルフ会のご指導とご支援で楽し
くゲームを進めることができました。また、世代間交流もでき有意義な大会となりました。



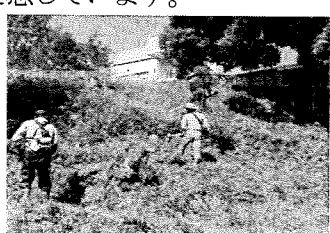
【文化事業活動】

昨年度から「コミセン杯囲碁大会」に代わり、4月実施の「お花見囲碁大会」(修齊囲碁クラブ主催)を後援することになりましたが中止としました。

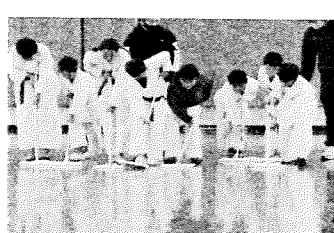
コミセン杯将棋大会を2月7日に計画していましたが中止としました。来年度の大会に向けて本公民館講座の「小学生将棋教室」を引き続き開講します。毎年多くの児童が参加してくれます。

【奉仕活動】

成和地域の41自治会役員様にはコミセン周辺の草刈り(6月と8月の2回実施延べ80人参加)、修齊野球クラブ様(子どもと保護者50人)にはグランド整備、日本空手道山桜会様(子どもと保護者60人)には体育館等の掃除をしていただきました。多くの方のご協力により綺麗にしていただきました。例年のご尽力に対してお礼を申し上げます。本公民館は本当に地域の皆さんに支えられていることを実感しています。



<コミセン周辺草刈り>



<体育館等の清掃>



<グランド整備>

【一般講座・教室】

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の3密等に配慮し、「ヨガ教室」と「簡単エアロ教室」を中止としました。また「剪定教室」・「農産加工教室」の2講座を新たに入れ、8講座26回の教室を計画・実施し、延べ422名に参加していただきました。

昨年度からの傾向として学習情報誌を見ていただいたのか成和地域以外の参加が多く、女性の参加も増えています。

年々受講される方が高齢化する中、今年は子どもや若年層にも参加できるような講座を入れましたので、小学生や親子連れの参加が増えました。今後も幅広い年齢層が参加できる講座を考えていきたいと思います。また、講座に参加した人たちでサークル活動につながるような講座も開設していきます。今年度は「バドミントン教室」のように終了後も引き続き集まって練習されているものもあります。

どの講座も皆さん意欲的に取り組まれ、それぞれの講座のねらいが達成できたと思います。今後も市民の皆さんの要望に沿えるような講座を開設し、生涯学習に寄与できるようにしていきたいです。また、今年も2講座以外は講師を成和地域の方にお願いしましたが、今後も講座を通して地域住民の交流を図り、新たな人材を発掘・育成していきたいと考えています。



【心の教育実践活動】

毎月11日を『いい日あいさつデー』として各種団体役員の皆様・教職員及び保護者、児童生徒たちが通学路や校門前に立ち、笑顔と大きな声であいさつを交わしています。また、各小学校では地域の皆様が毎日登下校時に付き添っていただき、声掛けをしていただきして、安心・安全な学校生活を送っています。



『家族だんらんの日』の取組は、例年なら各園・各学校、各地区公民館、地区の各種団体が連携し、それぞれの事業で工夫を凝らした活動を実施していましたが、今年は新型コロナウイルスのためほとんどの事業ができませんでした。そんな状況の中でも、各園・各学校では保護者や地域の方の参観を控えていただき、感染予防を徹底し可能な形で実施していただきました。実施できた事業を通して、学校・家庭だけでなく地域一体となった交流でさらに絆が深まったように感じます。

成和ブロック教育研究会の事業として、「ようこそ先輩！」(3回シリーズ)を実施しました。この事業は、成和ブロックの児童生徒に、自分の夢を持ち目標に向かって努力することの大切さを考え、自己肯定感を高める目的で講演会を実施しました。文武両面の最先端で活躍する同郷の卒業生から、小・中学校時代に頑張ってきたことや将来展望を持って学習や生活に向かう大切さ等を語ってもらいました。また「生きるとは」を問う「命の授業」にもなりま



「成和コミセンふれあいまつり」が中止となったので、各園・各校の取組の様子を模造紙にまとめ、体育館への通路に掲示し来館者に見ていただきました。



子どもたちは各種事業を通して、人ととのふれあいの大切さや地域の方々に温かく見守られていることを実感することが多かったと思います。

今年で5年目になる「地域未来塾」。学習習慣を十分に身につけさせたい中学3年生を対象に9月から2月中旬までしました。生徒の参加率も高く、毎回多くの学習支援員と意欲的に学習に取り組んできました。今年は11人の学習支援員、生徒17人が参加しました。生徒たちにとってはこの「地域未来塾」が学習する場だけでなく、支援員と心の交流ができる「心の居場所」になっています。

この「心の教育実践活動」では、今後も学校・家庭・地域が一体となり、充実した取り組みを進めていきたいと考えています。

【共に幸せを生きるまちづくり講座】

今年度は10月に計画していましたが、感染拡大防止のため中止としました。

成和地域公民館利用状況

令和2年1月～令和2年12月

単位…人(回)

施設	開館日数	公民館(センター)						体育館						運動場						総計						
		会議室	研修室	和室	調理室	実習室	合計	ピーチソフト	バスケット	バレーボール	ソフトテニス	バドミントン	卓球	インディアンアカ	その他	合計	野球	G・G	合計	回	人数					
1	23	195	19	50	7	76	23	347	16	36	110	7	2	177	39	56	83	40	526	580	325	905	97	1778		
2	23	380	55	77	12	65	29	589	46	29	113	0	0	155	39	73	141	44	596	507	293	45	800	118	1985	
3	11	0	22	0	0	0	3	22	10	23	52	0	0	0	19	19	19	13	142	78	172	17	250	33	414	
4	15	88	8	0	0	43	11	139	9	23	370	0	6	0	22	65	70	47	565	127	185	25	312	83	1016	
5	11	6	0	0	0	7	2	13	0	0	32	0	2	0	0	0	30	16	8	80	86	135	20	221	30	314
6	25	93	8	8	0	29	12	138	28	8	496	0	2	177	48	186	189	74	1134	526	467	56	993	142	2265	
7	25	165	26	20	14	45	27	270	68	5	781	0	0	205	43	205	36	73	1343	420	321	42	741	142	2354	
8	26	125	0	28	12	55	20	220	45	42	138	3	4	141	31	28	38	35	470	970	293	52	1263	107	1953	
9	24	233	33	50	8	61	28	385	48	56	257	0	34	204	22	0	200	44	821	750	643	58	1393	130	2599	
10	27	198	18	51	34	68	35	369	56	40	312	0	0	188	34	8	180	45	818	285	762	56	1047	136	2234	
11	25	375	0	126	21	68	35	590	39	21	393	3	24	178	29	0	3	39	690	282	452	48	734	122	2014	
		コミニセソンまつり(学校・園・一般展示)																			0	0	0			
12	25	375	0	126	21	68	35	590	39	21	393	3	24	178	29	0	3	39	729	282	452	48	782	122	2101	
合計	260	2233	189	536	129	585	260	3672	404	304	3447	16	98	1603	355	670	978	501	7914	4893	4500	501	9441	1262	21027	
月平均	186	16	45	11	49	22	306	34	25	287	1	8	134	30	56	82	42	660	408	375	42	787	105	1,752		

令和2年度 第2回市立公民館運営審議会（3月4日）資料

三和地域公民館

○ 三和地域の概要

人口 3,149人（小中学生：134人）
 世帯数 1,568世帯
 高齢化率 46%



I 令和2年度事業（取組）の重点

- ◇ 福知山市教育委員会の社会教育の重点に基づき、人づくり、地域づくりに貢献できる学習機会と学習情報を提供する。
- ◇ 地域の財産である子どもたちの健やかな成長のため、心の教育実勢活動のもとで地域住民と連携を深めながら事業に取り組む。
- ◇ 地域住民一人ひとりが互いの人権を認め合い、尊重し合うまちづくりを基本に人権学習を取り組む。

II 事業概要及び特徴的な事業について

1 講座教室の開設にあたっての留意事項

- ・新たな内容に加え、地域の伝統文化継承等を講座に組み入れる
- ・講師には地元の人材の起用
- ・講座終了後サークル活動として継続（今年度は活動休止が目立つ）
- ・受講者のニーズの把握（アンケート）

◆三和地域公民館利用者アンケート結果集計表

【令和2年度】(単位:人)

	年齢別 (人)	参加経験(人)	満足度 (人)	講座認知経緯(人)
講座数 受講者数 回答者数	20未満	はじめて 7 複数回 82	満足できなかった	情報誌 29
	20代		1 0	チラシ 52
	30代		2 0	市HP 0
	40代		3 2	口コミ 7
	50代		4 2	友達 1
	60代		5 85	
	70代		満足できた	
	80代			

【令和元年度】(単位:人)

	年齢別 (人)	参加経験(人)	満足度 (人)	講座認知経緯(人)
講座数 受講者数 回答者数	20未満	はじめて 23 複数回 121	満足できなかった	情報誌 73
	20代		1 1	友達紹介 30
	30代		2 0	口コミ 6
	40代		3 12	市HP 7
	50代		4 19	チラシ 26
	60代		5 112	無線放送 2
	70代		満足できた	
	80代			

2 子どもたちの健やかな成長を育むために

三和町内の菟原・細見・川合の三小学校と三和中学校が統合して、小中一貫校三和学園が開校して2年目を迎える、公民館も地域として学園と連携を図ってきた。

小学生の殆どがスクールバス通学となり、あいさつ運動の実施にも変化をもたらしたが定着し、あいさつを通じて顔なじみとなった地域の方々と、児童生徒はふるさと学習の場においても繋がりを深めている。

三和地域公民館で実施された「地域未来塾」も、今年4人の生徒がそれぞれの夢の実現を目指し学習に取り組んだ。



【地域未来塾の学習状況】

III 成果と課題（次年度にむけて）

1 公民館まつり

感染予防対策でスタートした今年度、公民館活動にも大きな影響を及ぼし、講座の中止や延期、サークル活動でも中止や休会に影響を与えた。しかし、感染が収束したとしても終わりではなく、新たな公民館活動のスタートであり、更なる工夫が求められるようになり、それに対応していくかなければならない。その一つとして開催した三和公民館まつりは、活動を続けているサークル・団体の活動の場の提供として声掛けをし、賛同を得られた団体のみではあるが開催をし、成果が得られので、次年度更に充実させての開催を予定している。

2 公民館運営協議会

一方、三和地域公民館の運営を支える細見地区公民館の休館の動きがにわかに進み、今年度をもって休館されようとしている。これまで、全てが三地区公民館と共に取り組んできただけに、休館となった場合、地域公民館での事業や運営協議会の運営等に何らかの影響が予測されることから、次年度の大きな課題と考えられる。

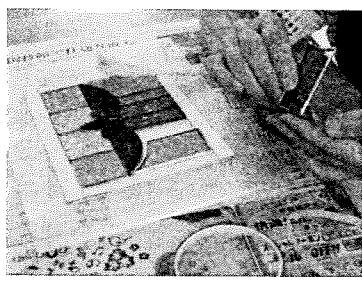


【公民館まつりでの舞台発表】

三和地域公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
ステンドグラス教室 (お手軽コース)	6月	2回	3人	6人
ステンドグラス教室 (じっくりコース)	7月～8月	4回	5人	20人
フラワーアレンジメント教室	9月～1月	5回	10人	49人
台湾風ストレッチ教室	6月～7月	5回	中止	中止
米粉でパン作り	7月	1回	10人	10人
米粉でロールケーキ作り	10月	1回	8人	8人
米粉でシフォンケーキ作り	10月	1回	8人	8人
たのしい料理教室	7月・12月	2回	15人	29人
パソコン教室	8月	4回	中止	中止
生き生きライフセミナー (こんにゃく作り)	11月	1回	12人	12人
生き生きライフセミナー (わら細工教室)	12月	1回	8人	8人
生き生きライフセミナー (みそ作り)	1月	1回	11人	11人
高齢者教室	1月	1回	中止	中止
子どもわくわく体験講座	5月～8月	3回	中止	中止
三和公民館まつり	11月8日	1回	98人	98人



(ステンドグラス教室)



(フラワーアレンジメント教室)



(米粉でロールケーキ作り)

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日	事業内容	受講者数
12月2日(水) (三和地域公館)	人権映画上映会 ～ サラーマット～	24人

三和地域公民館運営協議会の活動

◎体育事業活動

(1) 第14回三和地域公民館杯 グラウンド・ゴルフ交流大会

◇開催予定日 令和2年10月17日（土）

◇会場 三和荘 運動広場

※ 雨天のため中止

◎文化事業活動

(1) 2020三和地域公民館まつり

◇開催日 令和2年11月8日（土） 午前10時～午後3時

◇会場 三和地域公民館

◇来場者数 約98名

◇事業内容

○オープニング 大正琴サークルの演奏

○図書館三和分館職員による「コメ袋でエコバック作り」

○作品展示

【公民館講座作品】・フラワー・アレンジメント ・ステンドグラス

【サークル作品】・編み物 ・パッチワーク ・絵手紙



(2) 第12回三和カルタ大会

◇開催予定日 令和3年1月9日（土）

◇会場 三和地域公民館 ホール

※ コロナウィルス感染症感染拡大防止のため、中止

令和2年度をふりかえって

—— 三和地域公民館 ——

【一般講座・教室】

今年度も市の「社会教育の重点」並びに「公民館活動の重点」に基づき、笑顔あふれる公民館活動を目標に、地域づくりに結びつく内容を主たるテーマに講座・教室を14講座計画したが、新型コロナウイルスの影響で、新規を含めて4講座を中止せざるを得なかった。

開校したなかでステンドグラス教室は、「お手軽」と「じっくり」の2コースを設定し、継続者向きのじっくりコースでは、ガラスのカットからの挑戦となりより個性あふれる作品が完成した。同じく継続講座のフラワーアレンジメント教室では、年末に室内を飾る作品や公民館まつりでの作品展示できる長く保存のできる作品づくりとなった。

たのしい料理教室やいきいきライフセミナーでは、郷土料理や季節を味わう内容を中心に実施した。今年度の特徴としては、市内全域からの受講者が年々増加していることと、料理教室等で少人数ではあるが男性の受講者があったことが挙げられる。

【心の教育実践活動】

今年度、家族だんらんの日の親子を対象とした取組は中止となったが、あいさつ運動では三和地域内の無線放送で前日と当日、三和学園の6年度の元気な呼びかけにより、通学路や学校において地域の方々との気持ちよいあいさつが交わされた。

また、地域公民館会議室で実施している三和地域未来塾には、今年4人の生徒かそれぞれの苦手教科の克服を目標に受講し、地域の方を含めた指導者の皆さん支援を受け真剣に学習に励んだ。

【人権教育に関すること】

共に幸せを生きるまちづくり人権講座については、6月と1月に人権講演会を計画するも中止することとなった。それでも、人権月間でもある12月に外国籍の人と地域住民との関わりが、テーマとなっている啓発映画「サラーマット」を活用し、文化や習慣の異なる外国籍の人と、地域や職場で共に生きるために必要なことが何かを一緒に考えることができた。

【三和地域公民館運営協議会】

新型コロナウイルスは、公民館活動にも大きな影響を及ぼし、当初は数ヶ月で元の活動に戻れるものと誰しもと思っていたが、予想以上に長引き、そして変化をもたらした。

運営協議会では、通常総会が書面決議方法となり直接委員からの意見を聴くことも、情報交換をすることも出来なくなり、公民館サークルのいくつかが、活動の自粛が引き金となり活動停止をされた。

そんな中、公民館まつりを共催で実施していた、三和ふれあいフェスティバルが中止されたため、公民館で活動されているサークル等団体の活動の場を確保するため、今年初めて三和地域公民館施設を活用しての公民館まつりを実施することができた。

講座で製作された作品に加え、これまでの講座の受講後から活動されているサークルの演奏や作品展示で、規模的には小さいものであったが、関係者の他に日頃から公民館のご理解を頂いている地域の皆さん多く来場いただくことができた点は非常に良かった。

三和地域公民館利用状況

令和2年1月～令和2年12月

月	開館日数	ホール		会議室		和室		創作室		総計		一日平均 人数
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
1月	28	14	200	22	200	1	5	12	101	49	506	18
2月	29	13	205	27	241	4	21	16	136	60	603	21
3月	14	2	38	7	65	0	0	1	8	10	111	1
4月	17	9	77	7	46	0	0	6	43	22	166	10
5月	12	3	19	5	29	1	8	3	24	12	80	7
6月	30	17	193	12	80	0	0	12	89	41	362	12
7月	31	14	131	14	111	0	0	6	67	34	309	10
8月	31	13	162	14	92	1	4	11	84	39	342	11
9月	30	20	174	13	85	0	0	8	72	41	331	11
10月	31	16	210	21	133	0	0	13	118	50	461	2
11月	30	15	163	18	167	2	15	9	139	44	484	16
12月	28	15	164	13	97	1	6	12	128	41	395	14
計	311	151	1,736	173	1,346	10	59	109	1,009	443	4,150	13
月平均	26	13	145	14	112	1	5	9	84	37	346	

令和2年度 第2回市立公民館運営審議会（3月4日）資料

1. 令和2年度事業(取組)の重点

【絆づくり～地域の原点は人と人とのつながり】

- ① 活動を通じて人をつなぐ・・・諸団体をつなぐネットワークづくり
- ② 課題解決に向けて地域をつなぐ
 - ・・・まちづくりにつながる学習機会の提供、人材育成
- ③ 文化を通じて心をつなぐ・・・より良い文化の共有
- ④ 学校・保育園を通じて世代をつなぐ
 - ・・・夜久野学園・下夜久野保育園と連携した地域づくり

2. 事業の概要および特徴的な事業について

(1) 概要

感染拡大防止のため、大人数の講座や児童生徒と近距離で接する講座を中止し、他の講座は定員を少なくした上で内容を工夫しながら実施した。

実施したものは次の通り。「子ども体験教室（パン作り）」「ふるさと講座夜久野学」「夜久野のみらいを創る集い」「はじめての篆刻教室」「バランスボール入門」「やさしいお菓子づくり」「オータムフェスティバル」「ふれあいいきいきフェスタ」「高齢者あんしん講座（3月10日予定）」。

(2) 特徴的な事業

① 住民からの提案を実現

住民から寄せられる発想を活かすことを通して、公共心や企画運営力をはぐくみたいと考え、このスタンスを大切にしている。

「ふるさと講座夜久野学」では、住民の方が地元の伝承をもとに自主的に調べた内容を発表、それをもとに座談会を行うという形態で実施。この企画は住民の発案により生まれたもので、打ち合わせを重ねながら足掛け2年で実現に至った。参加者からも好評で、この講座を契機に地元の文化財について調べる活動が新たに生まれたり、関心を寄せる人のつながりが生まれたりしている。今後も「探求」と「交流」による学びの形態を発展させていきたい。

「ふれあいいきいきフェスタ（夜久野公民館まつり）」では、実行委員会の協議の中から“コロナ終息を願う折り鶴”的企画が生まれた。全住民に呼びかけるとともに地域の諸団体と連携して折り鶴を募ったところ、約1万4000羽の鶴が寄せられた。フェスタの会場（夜久野ふれあいプラザ）に飾ることで、様々な人が力を合わせて作り上げる達成感を共有した。

② 多世代による地域づくり

「夜久野のみらいを創る集い（まちづくり講座）」では、夜久野学園8年生12名と同数の大人が、4人一組のグループに分かれてじっくりと語り合った。“中学生と大人が一緒に何かを実現しよう”を目的のひとつに掲げており、「集い」の終了後にも関係者と実現に向けての話し合いを重ねている。

③ 情報発信

今年度は、講座を中止したり少人数で実施したりせざるを得なかった。そのため公民館に来られない人にも講座の様子を伝え学習内容を共有したいと考え、ホームページの更新頻度や「公民館だより」の発行回数を増やすなど、情報発信を心掛けた。

3. 成果と課題(次年度に向けて)

(1) 成 果

【新規の参加者】

「夜久野のみらいを創る集い」「子ども体験教室」「はじめての篆刻教室」「ふるさと講座夜久野学」「男のこだわり料理」で、合計30名の新規参加者があった。

「ふるさと講座夜久野学」では、80歳代の初参加者があり、先人からの聞き伝えを語られたり事後に調べたりされた。高齢者とともに地域について語り合うことの大切さや生涯学習の意義を実感した。

【諸団体との交流・新たな「結び」のありかた】

講座の定員を従来よりも少なくし、参加者同士の距離を取るよう努めてきたが、そのことにより「集う」「学ぶ」「結ぶ」という公民館の重要な特色を損なうことが懸念された。そこで“社会的な距離を取りながら人のつながりを育てる”手立てを模索してきたが、「千羽鶴大作戦」の成果から“気づき”を得ることができた。

それは、“共感できる企画”を提案することで、直接集まらなくても「つながり」を育むことができるのではないか、ということである。

千羽鶴企画では、ちらし等を通じて全世帯に周知するとともに、様々な団体と連携を深めることで、多くの人と目的を共有し各方面から同時期に取り組みを推進し、一気に仕上げていく達成感を得ることができた。この手法から学んだことや一体感を今後の地域づくりに活かしたい。

また、当館ではペットボトルキャップ、古切手、書き損じはがき、ベルマークの収集箱を設置しているが、公民館まつり以降持ち込み数が増加している。千羽鶴で実感した「リモートでの参加感」に加えて「社会貢献」にもなるため、「集い」や「結び」はぐくむ手立てになると思われる。集めて持ち寄ることで社会参加できることを「公民館だより」などで意識付けし、「学び」の側面も補完したい。

(2) 課 題

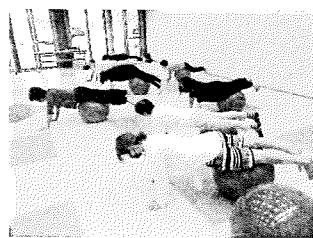
今年度は感染防止のため、大人数の講座の中止や定員数を減らすことにより、総参加者数が大きく減少した。来年度は、講座数を増やすことで一講座あたりの定員が少なくとも、多くの受講生の学習意欲に応えられるようにしたい。

なお、予算についてはやりくりが大変厳しい。低予算でも活動を充実させるよう努力を重ねる一方で、これ以上予算が削減されることのないよう、公民館だより・ホームページなどの広報活動を通じて公民館活動の重要性を一層アピールしたい。

夜久野地域公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
子ども体験教室(パン作り)	8月4日	1回	12人	12人
パソコン講習会	7月	中止	—	—
健康講座	6月21日	中止	—	—
ふるさと講座夜久野学	8月26日	1回	14人	14人
ふるさと講座夜久野学	3月13日	1回	人	人
夜久野まちづくり講座 (講演会)	5月24日	中止	—	—
夜久野まちづくり講座 (夜久野のみらいを創る集い)	12月12日	1回	36人	36人
夜久野まちづくり講座 (まちづくり振興大会)	2月21日	中止	—	—
はじめての篆刻	7月～9月	4回	9人	35人
バランスボール入門	9月～10月	4回	8人	32人
男のこだわり料理	7月～2月 (2月中止)	2回 (3回)	5人	10人
男のこだわり料理 (夜久野学園と共に)	11月～12月	中止	—	—
やさしいお菓子づくり	10月～2月 (2月中止)	2回 (3回)	8人	16人
音楽サロン(うたごえ喫茶)	9月14日	中止	—	—
音楽サロン(名曲喫茶)	2月28日	中止	—	—
高齢者あんしん講座	3月10日	1回	人	人
文化祭(共催)	7月4日・5日	中止	—	—
オータムフェスティバル(共催)	10月3日	1回	92人	92人
ちいさな音楽会(共催)	—	中止	—	—
ふれあいいきいきフェスタ (第15回夜久野公民館まつり)	11月1日～3日	1回	455人	455人



〈バランスボール入門〉



〈はじめての篆刻〉



〈やさしいお菓子づくり〉



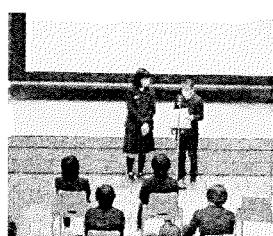
〈ふるさと夜久野学〉



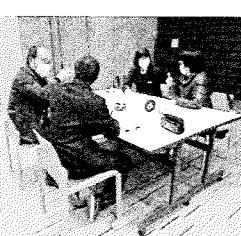
〈子ども体験教室〉



〈男のこだわり料理〉



〈夜久野のみらいを創る集い〉



◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日	学習テーマ	講師	受講者数
6月 6日(土)	『知ってほしい吃音のこと、吃音を持つ私のこと』	越賀美穂	中止
6月 21日(土)	『聞き上手で暮らしを豊かに』	小松真佐子	中止
12月 1日(火)	【中学生と学ぶ人権講演会】 「命の授業」～ドリー夢メーカーと今を生きる～	腰塚勇人	110人



〈中学生と学ぶ人権講演会〉

◎人権公演会（トーク＆コンサート）

実施日	事業内容	講師	受講者数
11月 1日(日)	夢見る力を信じて ～ともに生きる未来～	前川裕美	中止

運営協議会の活動

(1) ふれあいきいきフェスタ(第15回夜久野公民館まつり)

☆開催日 令和2年11月1日(日)～3日(火)

☆会場 夜久野ふれあいプラザ

☆参加者 約455名

☆内容 例年、夜久野地域住民が学びとふれあいを通して連帯感を深め、豊かな地域づくりに寄与することを目的に実施している。今年度はコロナ禍での実施にあたり、感染防止対策を充分に取りながら、実行委員会を中心に協議を重ね、準備から片付けまで創意工夫ですすめることができた。

毎年恒例のトーク&コンサートや舞台発表、屋外発表、茶席、バザー、模擬店など、三密になるような取り組みやコーナーは避け、展示日を3日間に延長し実施した。

【ホール、ホワイエ】作品展示、団体の活動紹介、健康啓発展示、まちづくりコーナー展示

【町民ラウンジ】ストリートピアノコーナーを設置し、来場者にピアノを開放。また音楽グループ「音グルメの会」による5分間ミニコンサートを実施。

【折り鶴コーナー】「コロナに負けない」千羽鶴企画では、地域の方から寄せられた13,879羽の折り鶴を館内に飾り付け、共にコロナウイルスの終息を願った。幼児から大人まで地域の連帯感を共有した取り組みとなった。



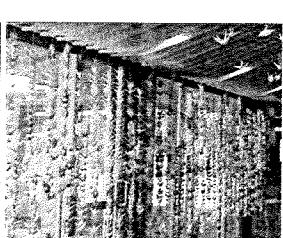
〈作品展示〉



〈ストリートピアノ〉
「5分間ミニコンサート」



〈折り鶴コーナー〉



(2) オータムフェスティバル

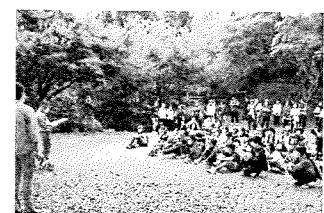
☆開催日 令和2年10月3日(土)

☆会場 夜久野高原宝山(田倉山)

☆参加者 約92名

☆内容 「宝山クイズスタンプラリー(宝山登山)」

コロナ感染ウイルス拡大防止対策のため、実施時期を夏から秋に変更し、屋外にて実施。親子でウォーキングをしながら心と体を鍛え、地域の方との交流を楽しみながら散策。



〈オータムフェスティバル〉

(3) 音楽サロン

①うたごえ喫茶

☆開催日 令和2年9月14日(月) *中止[コロナ感染ウイルス拡大防止のため]

☆会場 夜久野ふれあいプラザ ホール

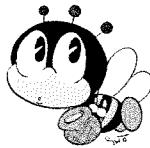
☆内容 歌唱・歌遊び等による参加者交流、健康食試食

②名曲喫茶

☆開催日 令和2年2月28日(日) *中止[コロナ感染ウイルス拡大防止のため]

☆会場 夜久野ふれあいプラザ ホール

☆内容 管弦楽(MAF管弦楽団)の鑑賞、健康食試食



紡づくり～地域づくりの原点は、人と人とのつながり～
をテーマに、下記の重点事項を柱に事業を実施した。

1. 活動を通じて人をつなぐ…諸団体をつなぐネットワークづくり
2. 課題解決に向けて地域をつなぐ…まちづくりにつながる学習機会の提供、人材育成
3. 文化を通じて心をつなぐ…より良い文化の共有
4. 学校・保育園を通じて世代をつなぐ…夜久野学園・下夜久野保育園と連携した地域づくり

【一般講座・教室・その他の事業】

① 活動を通じて人をつなぐ

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座の定員を従来よりも少なくし、参加者同士の距離を取り実施した。そのことにより「集う」「学ぶ」「結ぶ」という公民館の重要な特色を損なうことが懸念された。“社会的距離をとりながら人のつながりを育てる”ということを模索した。

具体的には、参加や来館できない人を意識し、講座実施ごとにホームページを更新したり、「公民館だより」の発行回数を増やすなどして、講座の様子を広く知らせるよう努めた。

また、「ふれあいいきいきフェスタ(夜久野公民館まつり)」では、「みんなで千羽鶴大作戦」を企画し、全住民に呼びかけるとともに地域の諸団体とも連携して、“コロナ終息を願う折り鶴”を募った。寄せられた約1万4000羽の鶴を館内に飾ることで、作り上げる達成感を共有した。

② 課題解決に向けて地域をつなぐ

「夜久野のみらいを創る集い」は規模を縮小し、夜久野学園8年生全員(12名)と同数の大人(男女比も同一)をまちづくり協議会との協力により調整し、4人一組のグループを6組作り、じっくりと話し合った。少人数でも有意義な会にするために、関係団体とは事前事後にも打ち合わせを重ねた。

「高齢者あんしん講座」では、コロナ禍で家にこもりがちな高齢者の実情を考慮して、福知山市老人クラブ連合会夜久野支部と共に催して、笑いと健康について楽しく学ぶ“ユーモアセラピー”的講演会を計画している(3月実施予定)。

③ 文化を通じて心をつなぐ

「ふるさと講座夜久野学」では、住民の方が地元の伝承をもとに自主的に調べられた内容を発表、それをもとに座談会を行う形態で実施した。伝承地の住民や郷土史に関心を持つ人が集まり、歴史に詳しいコーディネーターにより内容の濃い交流ができた。この企画は住民の発案により初めて試みたが、今後も「探求」と「交流」による学びの形態を発展させていきたい。

「男のこだわり料理」「やさしいお菓子づくり入門」は、感染防止のため受講者数を少なくせざるを得なかった。そこで、実習したレシピを「公民館だより」やホームページで公開し、共有化を図った。

④ 学校・保育園を通じて世代をつなぐ

「ふれあいいきいきフェスタ」において、夜久野学園児童生徒全員の作品を展示(この催しでの全員展示は初めて)。園児も地元伝統の「額田のダシ」の共同作品を展示。多くの地域住民に子どもたちの作品を見もらうことができた。

【人権啓発の講座】

「中学生と学ぶ人権講演会」を実施。事故による全身麻痺から社会復帰された腰塚勇人さんの講演を、夜久野学園児童生徒と地域住民と一緒に聞き、感動を共にした。

【心の教育実践活動】

家族だんらん事業として「オータムフェスティバル」を開催。PTA が中心となりウォークラリーで夜久野高原を巡った。コロナ禍で屋外遊びの機会が少なくなっている子どもたちのために柔軟な発想とチームワークで運営する保護者を、民生児童委員と公民館が支援した。

令和2年度 第2回市立公民館運営審議会資料

大江地域公民館

1 令和2年度事業（取組）の重点について

- (1) 地内3公民館（他の3館休館）及び自治会と連携して、地域活動や生涯学習の活性化を図る。
- (2) 地域内の伝統や文化、スポーツの振興に努める。
- (3) 地域住民の学習ニーズに応える生涯学習を推進する。

2 事業の概要及び特徴的な事業等について

(1) 事業の概要

- ① 地域と結びついた事業
- ② 青少年の健全育成に関わる事業
- ③ 地域住民の健康や生き甲斐の増進を目指す事業
- ④ 人権尊重の意識・行動力の向上を目指す事業

(2) 事業の内容

- ①【一般講座：17講座】
- ②【運協主催講座：2事業】
- ③【心の教育実践活動：町内の各学校と連携】
- ④【共に幸せを生きるまちづくり人権講座：講演会の実施】

3 成果と課題（次年度に向けて）

（成果）

【一般講座】

- 中止した講座は3講座だった。また、受講者のアンケート結果は概ね「満足」の評価をいただいており、当初の目的を達成できた。

【心の教育実践活動】

- 子どもたちと家庭や地域社会との繋がりを深めるための「敬老の日 メッセージカード」の取組は、コロナ禍の影響で敬老会を中止される自治会も多数あったが、地域の皆様の協力により対象となるお宅に子どもたちの思いを届けることができた。
- 今年度で閉校となる3小学校では、閉校に関わる行事を親子で行うなど、学校や地域などに対する愛着を深める取組がそれぞれ行われた。
- 例年実施している「あいさつ運動」や「見守り隊」の活動は、子どもたちが地域の方々に守られている感覚を日常的に高める機会になった。

【人権啓発】

- 参加者の思いを話題に取り上げることで、人が大切にすべきことについて具体的に考えることができた。
- 【大江地域公民館運営協議会】

- 運営協議会の支援により、コロナ対策を講じて2事業を実施できた。

（課題）

【一般講座】

- 受講者の固定化や地元（大江町）の方の参加が比較的少ない。地元住民の利用や人材活用がより進められるよう講座内容や講師の見直しが必要である。

【心の教育実践活動】

- 大江学園が開校する来年度は、学校や地域との連携を一層深めて「心の教育実践活動」を実施していくかねばならない。

【大江地域公民館運営協議会】

- 来年度は、事業の変更なども含めてより慎重にコロナ対策を練る必要がある。
- 地区公民館など他団体との協同体制の在り方などについて、引き続き検討していくかねばならない。

大江地域公民館

◎ 一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
自然観察会	6月中止、10月10日	1	14	14
ノルディックウォーク教室	11月8日	1	17	17
弓道教室	6月～7月(5回)中止	0	0	0
大江の歴史探訪講座	5月中止、10月24日	1	17	17
レザー小物作り	10月31日	1	9	9
ヨガ教室	8月22・29日	2	13	22
プリザーブドフラワー講座	9月23,26日、11月4,7日	4	14	20
ペーパークラフト講座	7月18日	1	8	8
終活(ノート作り)講座	9月12・19日	2	10	19
高齢者いきいき講座	7月中止、11月19日	1	21	21
アロマワックスバー	8月1日	1	8	8
藍染め教室	9月6日	1	6	6
和紙灯籠作り	10月17日	1	14	14
おもしろ文字講座	7月5日、11月15日	2	8	14
かんたん料理教室	10月7日、12月5日	2	10	17
かわいいパン作り	10月28日、11月14,28日	3	17	17
アイシングクッキー講座	8月8日、12月19日	2	16	18
おいしい味噌作り講座	1月23・30日	2	19	20
公民館まつり	11月21・22日	1	166	166



<ペーパークラフトかご作り>



<おもしろ文字・習字>



<レザー小物作り>



<藍染め教室>



<和紙灯籠作り>



<自然観察会>

◎ 共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日	テーマ	講師	人数
8月28日(金)	「親と子、出会った言葉とワンコと落語」	言福亭 お呵々	44



大江地域公民館運営協議会の活動

◎ 第9回 親睦グラウンドゴルフ大会

★ 日 時 令和2年11月1日(日) 午前9時半～12時

★ 場 所 河東グラウンド

★ 参加数 63名 (密を避けるため、募集を減らしたが参加希望者は例年より多かった。

1組 4人の15グループで実施。グラウンドいっぱいに広がり笑い声を響かせて楽しんでいただけた。)



◎ 公民館まつり 「みんなのフェスティバル」

★ 開催日 令和2年11月21日(土)・22日(日) 午前10時～午後4時

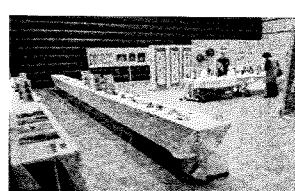
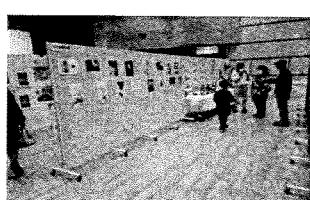
★ 会場 大江町総合会館

★ 内容 展示のみ (児童生徒作品、絵画、書道、手芸品、公民館講座作品など約350点)

★ 出品者 大江の小中高校生、大江町で活動中の団体や個人。

★ 来場者数 166名

(今年度はコロナ感染予防の為、舞台発表は中止とし、密を避けるため展示発表を2日間に増やした。また、今年度から大江町文化協会とも連携し、同会場で展示を行った。)



◎ 第4回 ビーチボールバレー交流大会

新型コロナ感染予防の為、中止

◎ 囲碁教室

新型コロナ感染予防の為、中止

◎ 第13回 大江地域公民館対抗卓球大会

新型コロナ感染予防の為、中止

◎ 第8回 大江地域公民館囲碁大会

新型コロナ感染予防の為、中止

令和2年度を振り返って

大江地域公民館

【一般講座】

「地域との結びつき」「住民の健康や生きがいの増進」「住民のニーズに応える学習」を中心に据えて講座を実施した。年間を通じて18講座の全35回を計画したが、コロナ禍の影響で、弓道教室の5回、大江の歴史探訪と自然観察会の1回を中止とした。受講者の声は、ほとんどの方に「満足」の評価をいただいており、造る喜びや体を動かす心地良さを味わうとともに、密を避けながらの参加者同士のコミュニケーションを楽しんでおられた。このことからも、講座の意義は大きいと考えている。

一方で、受講者の固定化や地元(大江町)の方の参加が比較的少ないという課題も見られる。これらの課題を念頭に置いて、地元住民の利用や人材活用がより進められるよう講座内容や講師の見直しを行っていきたい。

【心の教育実践活動】

地域の子どもたちの健全な育成を願って、家庭・地域・学校が相互に連携を取り、「思いやり・連帯感」など心を育てる実践活動を展開した。大きな取組として、毎月「家族だんらんの日」に「お楽しみ券」を配布して、子どもたちと家庭の役割や絆を深めた。また、地域社会との繋がりを深めるために、小中学校では「敬老の日 メッセージカード」の取組を実施した。コロナ禍の影響で敬老会を中止される自治会もあったが、地域の皆様の協力により敬老の方に子どもたちの思いを届けることができた。他にも、今年度で閉校となる3小学校では、閉校に関わる行事を親子で行うなど、学校や地域などに対する愛着を深める取組が行われた。また、例年実施している「あいさつ運動」や「見守り隊」の活動は、子どもたちが地域の方々に見守られている感覚を日常的に高める機会になったと考える。

【人権啓発】

綾部市在住のアマチュア落語家 言福亭お呵々(いうふくてい おかげ)さんを招き、「親と子 出会った言葉とワンコと落語」の演題で講演をしていただいた。親の愛情いっぱいの落語を聴き、お呵々さんの体験談を聴き、「改めて家族のこと、友達のことを考えさせられ、今は感謝の気持ちでいっぱいです。」等の感想をたくさんいただき、親の愛情やや言葉かけ等、人が大切にすべきことについて考える機会となった。

【大江地域公民館運営協議会】

昨年に引き続き、今年も地区公民館が1館休館となり、運営協議会の役割はさらに重大になってきた。今年度は、コロナ禍の影響で予定していた6事業のうち2事業のみ実施したが、来年度は事業の変更なども含めてより慎重にコロナ対策を練る必要がある。また、他団体との協同体制の在り方などについても、引き続き検討していかねばならない課題となっている。

令和2年度 大江地域公民館利用状況

月	開館日数	体育ホール			大広間			和室1			和室2			和室1・2			調理室			総計			1日平均
		件数	人數	件数	人數	件数	人數	件数	人數	件数	人數	件数	人數	件数	人數	件数	人數	件数	人數	件数	人數		
1月	23	11	122	6	38	2	14	0	0	0	0	0	0	2	31	21	205	0.9	8.9				
2月	23	28	294	7	122	5	33	0	0	0	0	0	1	7	41	446	1.8	19.4					
3月	8	3	41	3	19	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	67	0.9	8.4			
4月	6	2	22	3	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	34	0.8	5.7			
5月	13	5	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	17	0.4	1.3			
6月	25	15	137	4	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	172	0.5	6.3		
7月	25	15	169	10	118	4	12	0	0	0	0	0	4	50	33	349	1.3	14.0					
8月	25	9	100	9	109	4	12	0	0	0	0	0	2	10	10	24	231	0.9	8.9				
9月	24	13	129	14	69	4	12	1	3	0	0	0	2	10	34	223	1.4	9.3					
10月	27	15	177	13	84	2	5	0	0	1	9	1	9	32	284	1.2	10.5						
11月	25	23	209	14	128	1	6	0	0	3	46	1	2	42	391	1.7	15.6						
12月	23	19	333	11	116	0	0	2	9	3	43	2	20	37	521	1.6	22.7						
計	248	158	1750	94	840	23	101	3	12	7	98	15	139	293	2940	1.2	11.9						
月平均	20.67	13.2	145.8	7.8	70.0	1.9	8.4	0.3	1.0	0.6	8.2	1.3	11.6	24.4	245.0								

令和2年度 第2回市立公民館運営審議会（3月4日）資料

桃映地域公民館

- 1 令和2年度事業の重点について
 (1) 教室・講座運営の推進
 (3) 人権講座の推進

- (2) 運営協議会主催事業の推進
 (4) 心の教育実践活動の推進

- 2 事業の概要及び特徴的な事業等について
 (1) 教室・講座これまでの経緯

年度	主催講座		運営協議会
H29年度 2017年	キンボール 1講座2教室	大正・庵我地区公民館と共に 特大書道・世代間交流 GG 音楽鑑賞 3講座4教室	7月1日設立 GG大会・囲碁将棋
H30年度 2018年	太極拳・キンボール・デジカメ 手芸・将棋 5講座16教室	歴史探訪・特大書道・音楽鑑賞 GG・人権 5講座6教室	GG大会・囲碁将棋
H31年度 2019年	キンボール・卓球バレー・手芸 そば打ち・子ども工作 他 13講座20教室	歴史探訪・特大書道・音楽鑑賞 世代間交流 GG・人権 5講座6教室	GG大会・囲碁将棋 フリーマーケット
R2年度 2020年	手芸・パラスポーツ・小学生英語 子ども工作・そば打ち 他 10講座24教室	歴史探訪・特大書道・音楽鑑賞 人権 4講座5教室	GG大会 フリーマーケット &コンサート

- ① 魅力ある教室・講座の展開、② 曜日・時間など参加対象に合わせた時間設定
 ③ 年代別の教室・講座の設定、④ 地域の人材の発掘

- (2) 運営協議会主催事業の推進・・下半期の事業 (上半期はコロナ禍の為、自粛)
 ① 開館記念グラウンド・ゴルフ大会 (平成29年7月1日の設立を記念し毎年開催)
 庵我・大正両学区の高齢者及びグラウンド・ゴルフ愛好者並びに両地区公民館役員の交流と
 親睦を目的に開催している。
 開催日：11月12日(木) 9:00～11:30
 場所：三段池公園 多目的グラウンド(半面使用)
 参加者：庵我・大正から計74名(大正30名・庵我44名)が参加。
- ② 囲碁将棋大会・・・(コロナ禍の為、中止)
- ③ 第2回フリーマーケット&第1回ふれあいコンサート開催
 日時場所：12月13日(日) 10:00～14:00、桃映コミセン体育館
 総参加者：207名(来場者132名、桃映中学校ボランティア9名、公立大学生11名
 出展者23名、運営者32名)
 ア 桃映中学校ボランティア9名が積極的に運営補助をしていただいた。
 イ 福知山公立大学地域経営学部「藤島ゼミ」と連携し、「光秀桔梗紋の手形アート」事業を
 学生が主体的に行い、地域との交流・連携を図る良い機会となった。
 ウ 大正学区在住の音楽家の協力を得て「ふれあいコンサート」を実施できた、次年度はこの
 取組を拡大し、小中学校の協力を得て「心の教育実践活動」発表の場としていきたい。

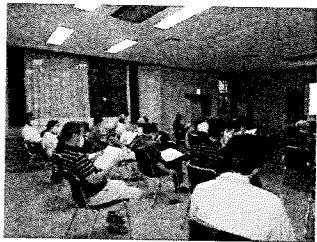
- 3 総括
 コロナ禍の1年でしたが、「正しく恐れ、正しく対応すること」を念頭に講座・事業を展開してまいりました。参加者からは「学びと交流の場」が欲しかった、「人とのつながり」が大切、等の感想を聞きました。公民館は「不要不急」ではないと考えます。

桃映地域公民館

◎一般事業・講座

事業及び教室・講座名	開設時期	回数	受講者数	受講延人数
大正歴史探訪教室	6/20・6/27	2回	21人	42人
季節のタペストリー教室(庵我)	7月3日	1回	8人	8人
庵我歴史探訪教室	7月11日	1回	38人	38人
新 パラスポーツ教室	7月5日	1回	11人	11人
新 小学生英語教室(大正)	8月～1月	9回	15人	135人
夏休み子ども工作教室	8月2日	1回	12人	12人
夏休み子ども工作教室(庵我)	8月16日	1回	6人	6人
特大書道教室(庵我)	8月30日	1回	8人	8人
特大書道教室	9月20日	1回	11人	11人
プリザーブドフラワー教室(大正)	9月2日	1回	6人	6人
プリザーブドフラワー教室(庵我)	9月5日	1回	8人	8人
新 カップケーキ デコレーション教室(大正)	10月25日	1回	4人	4人
新 カップケーキ デコレーション教室(庵我)	10月26日	1回	4人	4人
そば打ち教室	11月～12月	3回	10人	30人
新 ポッチャ体験教室	11月22日	1回	12人	12人
音楽鑑賞教室	12月9日	1回	200人	200人
お正月リース教室(大正)	12月2日	1回	6人	6人
お正月リース教室(庵我)	12月5日	1回	6人	6人
人形作り教室(大正)	R3 2月12日	1回	—	—
共に幸せを生きる人権講座	12月17日	1回	50	50人
共に幸せを生きる人権講座	2月14日	1回	中止	中止

◎一般事業・講座の記録写真



〈大正歴史探訪〉



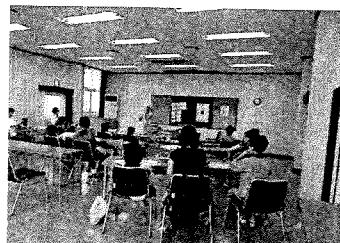
〈季節のタペストリー〉



〈庵我歴史探訪〉



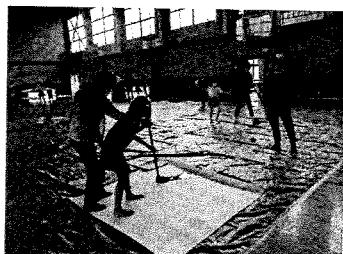
〈パラスポーツ教室〉



〈小学生英語教室〉



〈工作教室〉



〈特大書道教室 庵我〉



〈プリザーブドフラワー教室〉



〈そば打ち教室〉



〈カップケーキデコレーション教室 庵我・大正〉



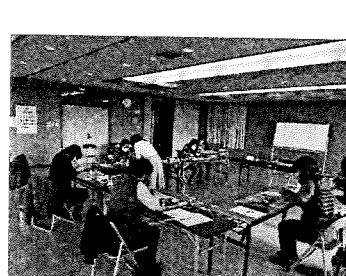
〈ボンチャ体験教室〉



〈音楽鑑賞教室〉



〈お正月リース教室大正



庵我〉

◎共に幸せを生きるまちづくり人権講座

実施日	学習テーマ	講師	受講者数
12月17日(木) 堀会館	『差別をしてしまう理由』を点検する～部落問題を中心に～	穀雨企画室代表 渡辺 裕さん	50人
2月14日(日) 堀会館	緊急事態宣言の為、中止		—

桃映地域公民館運営協議会の活動

◎体育事業活動

「第4回 桃映コミセン独立記念グランドゴルフ大会」

☆開催日 令和2年11月12日(木)

午前8時30分～午前11時30分

☆会場場所 三段池多目的グラウンド

☆参加人数 91名(内役員13名)

大正地区34名・庵我地区44名

☆競技方法 男女総合個人戦

☆成績 優勝… 和久 一功さん

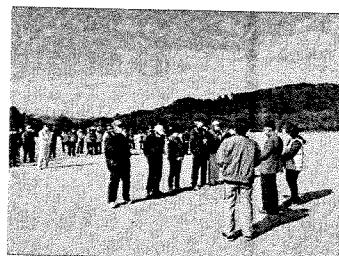
準優勝… 塩見 義輝さん

3位… 横山 末子さん

4位… 赤壁八寿男さん

5位… 外賀 治夫さん

6位… 四方 克行さん



◎交流事業活動

「第2回 桃映コミセンフリー マーケット&第1回ふれあいコンサート」

☆開催日 令和2年12月13日(日)

午前10時00分～午後2時00分

☆会場場所 桃映コミセン 体育館

☆参加人数 207名(内役員75名 公立大ゼミ生 桃映中ボランティア含む)

☆ふれあいコンサート プロデュース 足立直敬さん

午後1時00分～午後2時00分

◎交流事業活動

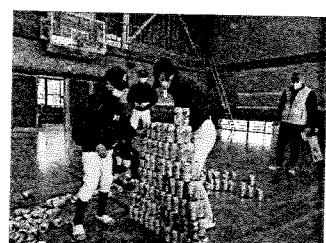
「第1回 桃映ギネスに挑戦大会」

☆開催日 令和3年1月17日(日)

午前10時～午後11時30分

☆会場場所 桃映コミセン 体育館

☆参加人数 20名(役員・指導者 10名)



<ギネスに挑戦大会>



<庵我朝市>



<フリー マーケット>



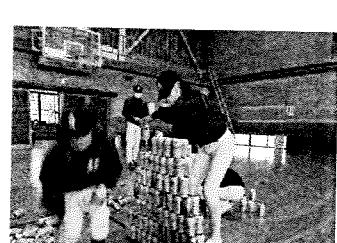
<ふれあいコンサート>



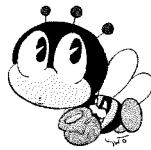
<手形アート>



<中学生ボランティア>



<ギネスに挑戦大会>



【講座・教室】

今年度の講座・教室運営を以下の表で総括します。

開設4年目となった本年を、昨年度に比べ表にしてみました。

年 度	講座・教室数	実施回数	受講者数	受講延べ人数	未実施
令和1年度	18	23	519	612	0
令和2年度	19	29	169	257	0
新規講座数	4	4	46	166	0

【総括】

◎全般的に受講者数が昨年の3分の一に減っている、これは新型コロナウイルス感染防止の為に市民の皆さんが出外を控え、人との接触を控える行動の表れであると思われる。加えて、主催者側も募集定員を昨年の半分に絞って募集した点も受講者数の減少に繋がっている。

【成果】

◎新規講座では「ポッチャ・小学生英語」を加え、今までになかった新しい内容で取り組めた。

しかし、「ポッチャ」は更に健常者の参加を促す工夫が必要であった。

昨年度から年間を通じて開設し2月まで講座を設け、学習の機会を増やすよう努力した。

親子で参加する教室を「工作」と「特大書道」に加え「小学生英語教室」を新たに開講した。「物づくり」や「表現活動」に加え「多言語」に親子で親しむ取組ができた。

また、これらの講師はそれぞれ地元に所縁のある方で、地元人材の活用に貢献できた。

【課題】

◎昨年度からの「新しい講座開催」や「地元講師人材の発掘」、並びに「偏りのない講座開設」が引き続いでの課題となる。対策として、「中央公民館 文化祭」で公民館以外の出展者グループ・サークルと人間観を作り、地域公民館で取り組んでいない講座の開設を図った。

更に、まだまだスポーツ系の講座が少ないのでこの分野の補強し、健康増進講座の充実が必要と考える。

【人権啓発活動】

【成果】

◎「共に幸せを生きるまちづくり人権講座」として2回の人権講座を「堀会館」を中心に「大正文化センター」「大正地区公民館」と共に開催した。

第1回目は「『差別をしてしまう理由』を点検する～部落問題を中心に～」と題し、穀雨企画室代表の渡辺 穀さんからお話をうかがった。私たちが「差別をしてしまう理由」は過去の「うわさ」や自分の「思い込み」で人を判断し、潜在的に「差別の芽」を作っている、何が正しいのかしっかりと考える人間にならねばならない、という教えでした。

第2回目は丹波市柏原町の成徳寺の住職 河合 宗徹さんから琵琶演奏と幅広い人権の話を聞かせて頂く予定でしたが、緊急事態宣言延長の為に中止となりました。

【課題】

◎桃映地域公民館独自の人権啓発事業を企画していかねばならない。

【心の教育実践活動】

【成果】

◎各小中学校及び保育園では「あいさつ運動」や「おもてなし券」「おてつだい券」による“親子のふれあい”取組が実施された。各地区公民館ではコロナ禍の為に“公民館まつり”が中止となったが桃映地域公民館では運営協議会事業として「フリーマーケット&ふれあいコンサート」を実施し、コンサートは心の教育実践活動桃映ブロックの取組として、大正地区在住の音楽家による生演奏を聴く事が出来た。また、桃映中学校ボランティア9名が終日運営補助に頑張って頂いた。

【課題】

◎保・小・中・高校・大学と学区内にある学校・教育機関と連携した「桃映コミセン文化祭」を地区公民館のご協力を得ながら企画していきたい。

【全般的な成果と課題】

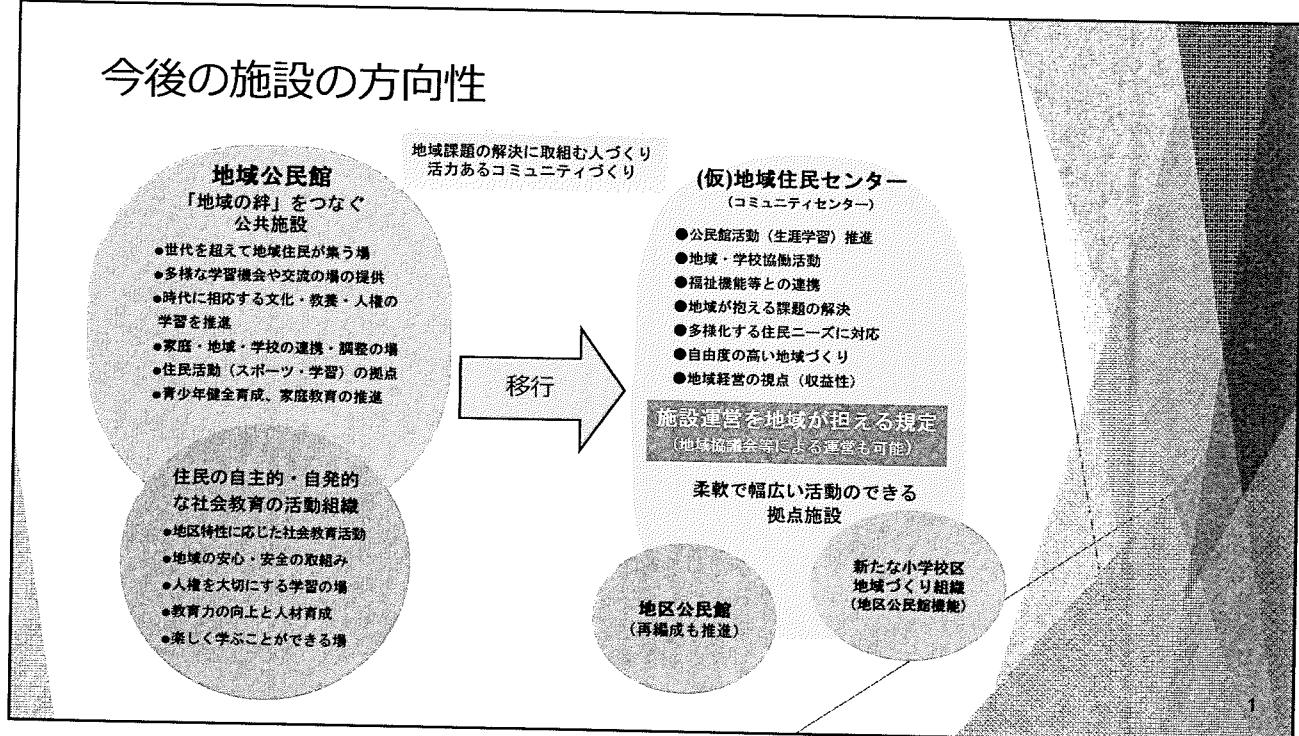
コロナに明け、コロナに終わった年であったが、負けずに人の学び・集い・結びを作りたい。

令和2年1月～12月
集計表

桃映地域公民館（体育館）利用状況

令和 2年	開館 日数	体 育 館										総合計	1日 平均															
		バレーボール	ビーチボール	ハンドミントン	卓球	ソフトバレーボール	空手道	剣道	ソフトテニス	フライング	なぎなた	バスケット																
1月	23	1	8	13	71	11	74	21	100	8	56	7	75	4	111	6	32	3	21	2	7	3	15	14	131	93	701	30.5
2月	23	0	0	12	93	12	95	16	78	8	56	8	118	3	75	4	19	3	32	2	5	10	86	8	121	86	778	33.8
3月	11	1	2	8	53	4	35	7	32	1	6	0	0	1	26	3	12	1	10	1	2	1	3	2	7	30	188	17.1
4月	15	0	0	9	61	9	52	15	50	5	20	1	13	0	0	3	8	2	12	0	0	4	16	7	59	55	291	19.4
5月	11	0	0	4	25	3	33	3	22	1	6	1	12	1	32	2	0	1	7	1	5	2	20	1	8	20	170	15.5
6月	25	2	12	16	92	11	99	21	100	8	46	4	52	6	217	8	26	5	51	4	17	13	128	9	122	107	962	38.5
7月	25	6	79	16	118	13	101	26	121	7	48	4	58	4	155	7	20	4	35	3	10	15	183	10	152	115	43.2	43.2
8月	26	0	0	11	75	11	91	23	122	6	30	3	35	4	153	8	38	4	35	2	8	11	133	14	107	97	827	31.8
9月	24	2	8	13	85	13	102	20	110	7	46	4	51	3	111	7	39	3	32	3	7	11	106	8	122	94	819	34.1
10月	27	3	53	14	106	13	105	23	114	7	49	4	51	4	145	7	34	4	34	5	18	8	94	10	131	102	934	34.6
11月	25	0	0	12	84	12	110	20	82	7	43	4	48	6	201	9	38	3	28	4	15	10	184	9	104	96	937	37.5
12月	23	0	0	8	58	12	104	17	72	8	44	4	36	5	141	7	29	3	37	3	6	4	84	10	221	81	832	36.2
合計	258	15	162	136	921	124	1001	212	1003	73	450	44	549	41	1367	71	295	36	334	30	100	92	1052	102	1285	976	8519	33.0
月平均	22	1.3	14	11	77	10	83	18	84	6.1	38	3.7	46	3.4	114	5.9	25	3	28	2.5	8.3	7.7	88	8.5	107	81	710	33.0

今後の施設の方向性



市立地域公民館（旧市域4館）の（仮）地域住民センターへの移行（案）

●施設の運営方法

[現状]

施設名	地域公民館		
役割	機能	内 容	
社会教育	生涯学習の場	教育、学習機能、学習の場の提供	住民の生きがい、生涯学期の学習を提供・サポート、人材育成、公民館活動、地域コミュニティの醸成

★住民自治、社会教育、福祉、危機管理などが各種連携し、多様化する住民ニーズに幅広く対応するとともに柔軟で幅広い活動のできる地域の拠点施設として移行

★施設の長寿命化計画と合わせて、新たな機能による総合窓口（ワンストップ）の事務機能を備えた設備に改修。太陽光発電、蓄電池を備えSDGsに貢献するとともに地域避難所として活用

[移行後]

施設名	(仮) 地域住民センター (コミュニティセンター)		
役割	機能	内 容	
住民自治	貸館機能	住民活動の拠点、支援	地域課題の解決に向けた各種調整・検討の場、地域団体（地域協議会等）の事務局支援、地域活動のコーディネイト
地域振興	営利活動	地域経営の拠点、支援	農産物や物品の販売、地域の特色を活かした見学や体験の場として活用
文化・スポーツ振興	スポーツ施設	スポーツ振興の地域拠点	体育館・グラウンドの提供、スポーツ指導
地域福祉	包括支援	高齢者に関する総合窓口	総合相談・支援、介護予防、権利擁護
危機管理	地域防災	避難所、防災資材の備蓄	ケアマネジメント支援、高齢者の生活支援をコーディネイト
社会教育	生涯学習	教育、学習機能	住民の安心・安全確保につながる避難所確保 住民の生きがい、生涯学期の学習を提供・サポート、人材育成、公民館活動、地域コミュニティの醸成

●実施体制

[現状]

所管	担当課	施設
教育委員会	中央 公民館	地域公民館 館長 嘱託 1 施設維持管理・貸 主事 嘱託 1 館・生涯学習 館員 臨時 1

開館時間（祝祭日・年末年始除）

⇒ 13:00～21:00 8H/日
祝・火曜休館 週6日

所管	担当課	施設
福祉保健部	高齢者 福祉課	包括支援センター 職員 1or2 嘱託 1or2 コーディ ネーター (臨時) 1～4

⇒ 8:30～17:00 週5日
土・日休み

[移行後]

所管	担当課	施設
地域振興部		地市民民センター 人数 担当業務 センター長 (公民館長兼務) 1 嘱託 住民自治、地域振 センター員 臨時 1 興(施設維持管 臨時 1 理・貸館) 公民館主事 嘱託 1 社会教育 包括支援員 1 高齢者福祉

開館時間（祝祭日・年末年始除）

開館時間 PM9:00～22:00 13H/日

休館日 祝・火曜日・日曜夜間 週6日

●施設管理・運営：9:00～22:00
(火曜・日曜夜間休み)

●公民館：8:30～17:00
(火曜休み)

●包括支援：8:30～17:00 (土、日休み)